







# 令和 5年度 施策評価表 モニタリング

<b>施策名</b>	220100	スポーツに親しむまちづくりの推進				
<b>SDGs (関連性のあるGOAL)</b>	     					
<b>基本目標</b>	Ⅱいきいきかがやく元気なまち					
<b>基本政策</b>	Ⅱ-2心躍るスポーツ・文化					
<b>所管部長</b>	区民文化部長		<b>所管課長</b>	スポーツ振興課長		
<b>関連所管</b>	施設経営課					

## 【施策基本情報】

施策概要(「基本計画2025」)	施策のアウトカムイメージ
<p><b>【概要(目標)】</b>                      スポーツを「する・観る・支える」の3つの観点から施設の効率的・効率的な活用、地域の活性化や一体感の創出を推進し、だれもがスポーツに親しみやすい環境を整える。</p> <p><b>【関係課または区以外の主体が施策実現に果たす役割】</b>                      関係機関・事業者・財団へスポーツ活動に対し支援する。また、自主的なスポーツ活動を展開する。                      区民はスポーツを「する・観る・支える」ことを通じて親しむ。</p> <p><b>【主な取り組み】</b>                      スポーツ施設運営・整備、スポーツプロモーション事業、高齢者スポーツ振興など</p>	<p>誰もが安全・安心な環境の下で日常的にスポーツに親しみ、楽しみ、また、気軽にスポーツを支える活動にも参加できる機会が多く存在している。                      それにより、コロナ禍で低下した運動習慣の回復、改善に貢献出来ている。                      また、東京2020大会終了後のレガシーとして区ゆかりのトップアスリートなどを起用しながらさまざまなスポーツイベントを実施し、パラスポーツの普及促進も実現している。</p>

## 【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	目標値
			実績	実績	実績	計画	目標年度
施策指標	① スポーツ施設の利用者	万人	100.0	125.0	153.0	176.0	182.0
		達成率(%)	54.9	68.7	84.1	96.7	令和 7年度
	② 週1回以上スポーツを行っている区民の割合	%	0.0	55.1	0.0	66.0	70.0
		達成率(%)	0.0	78.7	0.0	94.3	令和 7年度
	③ スポーツ推進委員の事業出席者数	人	285.0	497.0	1,200.0	1,310.0	1,310.0
		達成率(%)	21.8	37.9	91.6	100.0	令和 7年度
	④ プロスポーツイベント観戦者数	人	11,940.0	15,344.0	17,428.0	18,000.0	18,000.0
		達成率(%)	66.3	85.2	96.8	100.0	令和 7年度
	⑤ スポーツイベント等参加者・来場者	人	12,319.0	22,640.0	68,964.0	90,600.0	90,600.0
		達成率(%)	13.6	25.0	76.1	100.0	令和 7年度
<b>特記事項</b>							
指標①は計画策定直後から目標と実績が大きく乖離していた。コロナによる利用自粛が今後も見込まれるため、令和7年度の目標を下方修正している。指標②は隔年実施の区民意識意向調査に基づく。指標⑤は、いたばしCityマラソン⇒令和2年、3年度はオンラインで実施。							

## 【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	
フルコスト	千円	1,340,790	1,409,426	1,705,845	1,773,287	2,093,023	
事業費	千円	800,792	847,583	1,096,347	1,163,789	1,483,525	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	14,343	0
	都支出金	千円	0	2,694	109	2,411	114
	特別区債	千円	161,000	0	0	0	0
	受益者負担	千円	0	0	1,482	1,253	2,357
	その他	千円	204,752	24,839	28,827	21,108	48,294
一般財源	千円	435,040	820,050	1,065,929	1,124,674	1,432,760	
人件費合計	千円	86,273	106,244	87,781	87,781	87,781	
経費	千円	453,725	455,599	521,717	521,717	521,717	

### フルコストの増減理由

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で東京2020大会が延期、ほとんどのスポーツ事業が中止となった。令和3年度は延期となっていた東京2020大会が開催されたことが上昇理由。一方で引き続き区主催スポーツ事業はほぼ中止となった。

施策名	220100	スポーツに親しむまちづくりの推進
-----	--------	------------------

**【前回の評価結果への対応状況】**

前回の評価内容		
評価用語／改善の方向性		
前回の評価結果への対応状況		
対応状況		

**【一次評価】所管部長による評価**

[成果の分析] 1. 施策目標に対する成果（実績値）の推移		
評価		
[成果の分析] 2. 目標と成果にギャップがある場合の要因		
[アウトカムの分析] 最終アウトカム（施策目標）を実現するための中間アウトカムは妥当か		
評価		
[環境変化の分析] 環境変化への対応状況について（社会状況や区民ニーズに対応できたか）		
評価		
[今後の展開方針] 施策の抱える課題を踏まえ、最終アウトカムの実現に向けて、施策をどう展開していくか		

**【外部評価】行政評価委員会による評価**

評価用語／改善の方向性	

**【二次評価】区の最終評価**

評価用語／改善の方向性	



# 令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 ) モニタリング

事務事業名	220100 - 001 スポーツ推進委員経費		
担当所属	スポーツ振興課		連絡先 3579-2652
関連所属			

## 【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち		
基本政策	Ⅱ-2心躍るスポーツ・文化		
施策	220100	スポーツに親しむまちづくりの推進	
根拠法令要綱	スポーツ基本法第32条 東京都板橋区スポーツ推進委員に関する規則		
計画事業番号		事業期間	昭和36年度 ~
			施設種別

## 【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 各地区の青少年健全育成地区委員会推薦、総合型地域スポーツクラブ推薦、その他</p> <p>【手段】 ユニバーサルスポーツの推進など、スポーツ振興施策における重点の変化に応じて、スポーツ実技指導等を踏まえつつ、区民に身近な立場からスポーツ振興を図る。</p> <p>【意図】 区民及び団体に対し、スポーツ実技の指導、その他スポーツに関する指導、助言及び地域スポーツのコーディネーターとしての役割を担い、スポーツ振興を図る。</p> <p>【成果】 各種事業、研修等を通じて区民に対するスポーツ指導や助言を行うとともに、地域スポーツのコーディネーターとして地域スポーツの活性化に寄与している。</p>	<p>【現状の周辺環境】 平成23年にスポーツ基本法が施行された。体育指導員の名称がスポーツ推進委員に変更され、従来のスポーツ実技指導等に加え、スポーツ事業のコーディネーターとしての役割が求められるようになり、区民に身近な立場からスポーツ振興を図るものへと変化している。</p> <p>【今後の予想される周辺環境】 新型コロナウイルスの5類への移行によるスポーツイベントの再開やスポーツ推進委員協議会の自主事業増加に伴い、より安全で効率的な事業実施の方法を検討する必要がある。</p> <p>【区民からの意見】 ドッジボールなどの審判協力依頼や、ふるさといたばし体操出張講習会依頼などがあり、地域住民からの求めに応じた活動も行っている。</p> <p>【他自治体との比較】 スポーツ推進委員はスポーツ基本法において、特別職の非常勤職員として、法的な位置づけがなされており、他自治体においても同様の活動を行っている。</p>

## 【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)		計画
① 成果指標	定員 (計画数)	人	60.0	58.0	60.0	59.0	98.3	60.0	令和 5年度
		達成率(%)	100.0	96.7	100.0	98.3		100.0	
② 成果指標	事業出席者数	人	285.0	497.0	1,280.0	1,200.0	93.8	1,310.0	令和 5年度
		達成率(%)	21.8	37.9	97.7	91.6		100.0	
③									
④									
⑤									
<b>特記事項</b> 令和5年度、追加事業があるため目標値を上昇させた。									

## 【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	
フルコスト	千円	12,916	11,642	13,432	12,499	12,928	
事業費	千円	7,100	5,879	7,667	6,734	7,163	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	7,100	5,879	7,667	6,734	7,163
人件費	千円	5,816	5,763	5,765	5,765	5,765	
正職員	千円	5,816	5,763	5,765	5,765	5,765	
	人員	人	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7
再任用等	千円	0	0	0	0	0	
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	スポーツ推進委員一人あたり	千円	215.27	200.72	223.87	211.85	215.47

### フルコストの増減理由

令和5年度は非常嘱年度であり、推進委員の入れ替えに伴う費用が発生しないことから、令和4年度予算と比較して減額

# 令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 ) モニタリング

事務事業名	220100 - 002 区民体育大会			
担当所属	スポーツ振興課		連絡先	3579-2651
関連所属				

## 【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち			
基本政策	Ⅱ-2心躍るスポーツ・文化			
施策	220100	スポーツに親しむまちづくりの推進		
根拠法令要綱				
計画事業番号		事業期間	昭和22年度 ~	施設種別

## 【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 区内在住、在勤及び在学者（競技種目により一部条件が異なる）。</p> <p>【手段】 区民が日頃の練習の成果を発揮する区の唯一の総合体育大会として開催している。</p> <p>【意図】 多数の競技種目（33種目）を実施することで、区民が様々なスポーツに親しみ、健康増進と体力向上を図ることで、区民生活を明るく豊かにする。</p> <p>【成果】 区民が様々なスポーツに親しむ機会や日頃の練習の成果を発揮する場となっている。また、当該大会の成績優秀者（チーム）を都民体育大会の出場者（チーム）として各競技団体が推薦することで、区民の競技意欲向上に繋がっている。</p>	<p>【現状の周辺環境】 区立体育施設等を使用し33種目の競技大会を開催。</p> <p>【今後の予想される周辺環境】 アフターコロナ、ウィズコロナの観点を取り入れた大会運営のあり方を検討していく。</p> <p>【他自治体との比較】 他自治体も同様に区民体育大会を開催している。</p>

## 【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度			令和5年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	
① 活動指標	区民体育大会参加者数	人	0.0	0.0	17,000.0	11,359.0	66.8	17,000.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
②									
③									
④									
⑤									

### 特記事項

令和2年度、3年度とも新型コロナウイルスの影響により全種目中止となったが、令和4年度は従来のスタイルでの総合開会式（例；大人数が集合し、行進する）を取りやめ、小規模での開会式を実施した。令和5年度も同様のスタイルで継続を検討してゆく。

## 【投入コスト・人員】

年度	単位	令和2年度 決算	令和3年度 決算	令和4年度 予算	令和4年度 決算	令和5年度 予算	
フルコスト	千円	5,105	2,901	11,356	10,941	13,547	
事業費	千円	120	431	8,885	8,470	11,076	
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
特定財源	千円	0	0	0	0	0	
都支出金	千円	0	0	0	0	0	
特別区債	千円	0	0	0	0	0	
受益者負担	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
一般財源	千円	120	431	8,885	8,470	11,076	
人件費	千円	4,985	2,470	2,471	2,471	2,471	
正職員	千円	4,985	2,470	2,471	2,471	2,471	
人員	人	0.6	0.3	0.3	0.3	0.3	
再任用等	千円	0	0	0	0	0	
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	参加者一人あたりの経費	千円	—	—	0.67	0.96	0.80

### フルコストの増減理由

令和2、3年度とも大会を中止したが、令和4年度は開会式を縮小し、大会自体は実施したため。

# 令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 ) モニタリング

事務事業名	220100 - 003 スポーツ競技会		
担当所属	スポーツ振興課		連絡先 3579-2652
関連所属			

## 【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち		
基本政策	Ⅱ-2心躍るスポーツ・文化		
施策	220100	スポーツに親しまちづくりの推進	
根拠法令要綱			
計画事業番号		事業期間	昭和22年度 ~
			施設種別

## 【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】</p> <p>①剣道開放事業⇒区民・区在学等</p> <p>②都民体育大会⇒区民、または都民で区在勤等の方</p> <p>③城北大会（柔道、剣道、ソフトテニス、陸上、バレーボール、卓球）⇒板橋区、練馬区、北区、豊島区、荒川区の各競技連盟所属の方</p> <p>④ウォーキング大会⇒制限なし</p> <p>⑤スポーツフェスティバルin板橋⇒区民</p> <p>⑥スポーツマッチングテスト⇒区民・近隣区（北区・練馬区）在住等</p> <p>⑦インクルーシブスポーツ体験会⇒区民・近隣区（北区・練馬区）在住等</p> <p>【手段】</p> <p>大会の開催</p> <p>【意図】</p> <p>練習の成果を発揮する場の提供及び区民の競技意欲の向上を図る。また、地域のスポーツ振興と競技交流や親善を図る。</p> <p>【成果】</p> <p>競技意欲の向上と実施競技の定着化が図られている。また、スポーツ・レクリエーション活動の機会拡充に繋がっている。</p>	<p>【現状の周辺環境】</p> <p>練習の成果を発揮する場の提供及び区民の競技意欲の向上並びにスポーツ・レクリエーション活動の機会拡充を図るとともに、都民体育大会、城北地区大会等においては、スポーツを通じて他自治体との親睦や競技交流を図っている。令和3年度以降については、従前、区が主催していた「少年少女サッカー選手大会」については、サッカー連盟主催とし、「区民ドッジボール大会」についてもドッジボール連盟とスポーツ推進委員の共催とし、官から民への移管を行った。また、令和5年度より新規事業を実施し、区民及び近隣区民がより一層スポーツに触れ合える機会を創出している。</p> <p>【他自治体との比較】</p> <p>他自治体も同様に各種競技会を開催している。また、城北地区大会については近隣区と連携し大会の運営を行っている。</p>

## 【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)		計画
① 活動指標	ウォーキング大会参加者数	人	0.0	0.0	1,000.0	1,236.0	123.6	1,200.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	令和5年度
② 活動指標	都民体育大会参加者数	人	0.0	10.0	450.0	406.0	90.2	450.0	450.0
		達成率(%)	0.0	2.2	100.0	90.2	—	100.0	令和5年度
③ 活動指標	スポーツマッチングテスト参加者数	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	800.0	800.0
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	—	100.0	令和5年度
④ 活動指標	インクルーシブスポーツ体験会参加者数	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	500.0	500.0
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	—	100.0	令和5年度
⑤ 活動指標	スポーツフェスティバルin板橋参加者数	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10,000.0	10,000.0
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	—	100.0	令和5年度

**特記事項**  
 令和3年度の都民体育大会はゴルフのみ実施し、参加者10名だったが、令和4年度は全競技実施した。  
 令和4年度より、ウォーキング大会が「スポーツ競技会」に加わる。令和5年度より、3新規事業を実施予定。  
 スポーツマッチングテストは8月・10月の2回開催予定。10月のスポーツマッチングテストとインクルーシブスポーツ体験会は同日開催予定。  
 スポーツマッチングテスト8月：300人 スポーツマッチングテスト10月・インクルーシブスポーツ体験会：500人の計画。

## 【投入コスト・人員】

年度	単位	令和2年度 決算	令和3年度 決算	令和4年度 予算	令和4年度 決算	令和5年度 予算	
フルコスト	千円	2,547	2,822	6,649	6,360	13,764	
事業費	千円	55	1,175	4,178	3,889	11,293	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	35	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	0	0	0	591	
	その他	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	55	1,175	4,178	3,263	6,121
人件費	千円	2,492	1,647	2,471	2,471	2,471	
正職員	千円	2,492	1,647	2,471	2,471	2,471	
	人員	人	0.3	0.2	0.3	0.3	0.3
	再任用等	千円	0	0	0	0	0
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	
コスト指標	千円	—	—	—	—	—	

### フルコストの増減理由

令和5年度より、新規事業を実施する予定のため大幅に増加。

# 令和 5年度 事務事業評価表 (令和 4年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	220100 - 004 板橋Cityマラソン		
担当所属	スポーツ振興課		連絡先 3579-2652
関連所属			

## 【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち		
基本政策	Ⅱ-2心躍るスポーツ・文化		
施策	220100	スポーツに親しむまちづくりの推進	
根拠法令要綱			
計画事業番号		事業期間	平成10年度 ~
			施設種別

## 【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 ・平成16年(2004年)4月1日以前に生まれた方(19歳以上)</p> <p>【手段】 マラソン大会の開催(フルマラソンのみ)</p> <p>【意図】 新しい生活様式におけるランナーの走る機会の提供、参加資格拡大等による健康増進への取組の推進、板橋区と自然豊かな荒川の魅力発信を目的とする。</p> <p>【成果】 2019板橋Cityマラソン以来、4年ぶりのリアル開催として、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じての大会であったが、緊急搬送案件もなく、無事大会を終えることができた。また、事業実施を通じて、実業団所属選手や学生ランナー、市民ランナーが日ごろの成果を存分に発揮する機会を創出するとともに、オープニングセレモニーにおいては、区の伝統を伝える西洋流火術鉄砲隊保存会による演舞を行う等、大会を通じて大会ブランドの向上と区の魅力を大いに感じることができた事業となった。</p>	<p>【今後の予想される周辺環境】 新型コロナウイルス感染症の動向に注視しつつ、新しい生活様式を組んだ大会運営を行っていく。</p> <p>【アンケート・統計調査】 大会参加者へアンケート調査を行い、アンケート結果を基に改善を図ることでサービスの向上に努めている。 ※アンケート回収数 (平成29年度2,273件、平成30年度2,001件、令和元年度中止、令和2年度(オンライン)422件、令和3年度(オンライン)275件、令和4年度1,205件)</p> <p>【他自治体との比較】 都内の日本陸連公認コースで開催されるフルマラソン大会については、「板橋Cityマラソン」と「東京マラソン」のみである。令和2年度、3年度はコロナ対策のためオンライン等を活用した方式による大会を開催した。令和4年度は板橋区制施行90周年を記念して、メインビジュアルを一新、フィニッシャーメダルの配布を行うとともに、ペースランナーの導入、板橋区民優先枠エントリー・ふるさと納税枠エントリーを新設する等、エントリー者増加に寄与した。</p>

## 【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	参加者数	人	1,828.0	1,169.0	10,000.0	8,926.0	89.3	11,500.0	11,500.0
		達成率(%)	15.9	10.2	87.0	77.6		100.0	令和5年度
② 成果指標	参加者アンケート※大会運営満足度	%	73.0	85.0	90.0	92.9	103.2	90.0	90.0
		達成率(%)	81.1	94.4	100.0	103.2		100.0	令和5年度
③ 成果指標	会場内出展ブース数	団体	0.0	0.0	20.0	9.0	45.0	20.0	20.0
		達成率(%)	0.0	0.0	100.0	45.0		100.0	令和5年度
④									
		達成率(%)							
⑤									
		達成率(%)							

### 特記事項

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度、3年度はオンライン方式で大会を実施。
- ・令和4年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、定員の削減(15,000人から10,000人)、サブ種目の休止等の対応を行った。
- ・令和5年度はサブ種目を再開予定。

## 【投入コスト・人員】

年度	単位	令和2年度 決算	令和3年度 決算	令和4年度 予算	令和4年度 決算	令和5年度 予算	
フルコスト	千円	13,712	14,490	19,651	19,651	19,651	
事業費	千円	3,742	4,610	9,769	9,769	9,769	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	3,687	6,251	2,363	6,251
	一般財源	千円	3,742	923	3,518	7,406	3,518
人件費	千円	9,970	9,880	9,882	9,882	9,882	
正職員	千円	9,970	9,880	9,882	9,882	9,882	
	人員	人	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2
	再任用等	千円	0	0	0	0	0
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	参加者一人あたり	千円	7.50	12.40	1.97	2.20	1.71

### フルコストの増減理由

令和2年度はオンラインマラソンによる経費減。令和3年度事業費は緊急財政対策により、10%減。

令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 ) モニタリング

事務事業名	220100 - 005 スポーツプロモーション		
担当所属	スポーツ振興課		連絡先 3579-2652
関連所属			

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち		
基本政策	Ⅱ-2心躍るスポーツ・文化		
施策	220100	スポーツに親しむまちづくりの推進	
根拠法令要綱			
計画事業番号	040	事業期間	平成27年度 ~ 施設種別

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】</p> <p>①横浜エクセレンス観戦デー⇒区内在住、在学の小中学生</p> <p>②東京ヴェルディ区民観戦デー⇒板橋区に在住、在勤、在学の方</p> <p>③東京ヴェルディバレーボールチーム試合観戦⇒板橋区在住、在学の小学生</p> <p>【手段】</p> <p>スポーツ大使やプロスポーツチームとの連携を通じた、各種スポーツ教室やイベントの実施</p> <p>【意図】</p> <p>スポーツへの興味・関心を高めること及び競技の普及・啓発</p> <p>【成果】</p> <p>区民がスポーツを身近に感じ、親しむことができる環境の整備</p>	<p>【現状の周辺環境】</p> <p>令和4年度は、事業実施が3年ぶりということもあり、例年より募集人数に対する申込者数が多く、抽選倍率が高くなる傾向があった。</p> <p>令和5年度より、一般社団法人東京ヴェルディクラブが運営するプロバレーボールチームと区立体育館におけるバレーボール教室の開催等に関する確認書を取り交わした。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度			令和5年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	事業実施回数	回	0.0	0.0	9.0	7.0	77.8	6.0	6.0
		達成率(%)	0.0	0.0	150.0	116.7		100.0	令和5年度
② 活動指標	事業参加者数	人	0.0	0.0	1,760.0	1,249.0	71.0	1,080.0	1,080.0
		達成率(%)	0.0	0.0	163.0	115.6		100.0	令和5年度
③ 成果指標	東京エクセレンス試合観戦者数	人	3,225.0	2,806.0	2,000.0	2,916.0	145.8	2,000.0	2,000.0
		達成率(%)	161.3	140.3	100.0	145.8		100.0	令和5年度
④ 成果指標	東京ヴェルディ及び日テレ・東京ヴェルディバレーザ試合観戦者数	人	8,715.0	12,538.0	13,500.0	16,433.0	121.7	13,500.0	13,500.0
		達成率(%)	64.6	92.9	100.0	121.7		100.0	令和5年度
⑤ 成果指標	東京ヴェルディバレーボールチーム公式戦観戦者数	人	0.0	0.0	0.0	718.0	0.0	1,000.0	1,000.0
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	71.8		100.0	令和5年度

特記事項

令和3年度については、緊急財政対策により全ての事業を休止とした。また、7月1日付で「東京エクセレンス」がホームタウンを横浜市に移転し「横浜エクセレンス」へ名称を変更した。  
令和4年度については、オリパラレガシー事業が「スポーツプロモーション」に加わるため、「事業実施回数」「事業参加者数」の目標値が設定された。

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和2年度 決算	令和3年度 決算	令和4年度 予算	令和4年度 決算	令和5年度 予算	
フルコスト	千円	13,385	13,382	21,155	18,312	19,745	
事業費	千円	92	209	7,979	5,136	6,569	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	2,272	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	0	0	1,250	469	
	その他	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	92	209	6,729	2,395	5,444
人件費	千円	13,293	13,173	13,176	13,176	13,176	
正職員	千円	13,293	13,173	13,176	13,176	13,176	
	人員	人	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6
	再任用等	千円	0	0	0	0	0
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	参加者一人当たりの経費	千円	—	—	—	—	

フルコストの増減理由

令和2年度については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により全ての事業が中止となった。  
令和3年度については、緊急財政対策により全ての事業を休止とした。  
令和4年度は事業実施した。



# 令和 5年度 事務事業評価表 (令和 4年度 事務事業) モニタリング

<b>事務事業名</b>	220100 - 006 (公財) 植村記念財団運営助成			
<b>担当所属</b>	スポーツ振興課		<b>連絡先</b>	2651
<b>関連所属</b>				

## 【事務事業基本情報】

<b>基本目標</b>	Ⅱいきいきかがやく元気なまち			
<b>基本政策</b>	Ⅱ-2心躍るスポーツ・文化			
<b>施策</b>	220100	スポーツに親しむまちづくりの推進		
<b>根拠法令要綱</b>				
<b>計画事業番号</b>		<b>事業期間</b>	~	<b>施設種別</b>

## 【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<b>【手段】</b> 運営費を助成する <b>【意図】</b> 冒険講座や植村冒険館を円滑に運営できるようにするため <b>【成果】</b> 冒険家・植村直己の冒険精神「ウエムラ・スピリット」を長く後世に伝える	<b>【現状の周辺環境】</b> 国民栄誉賞を受賞し、世界を代表する冒険家である植村直己氏を顕彰する建物は当館と兵庫県豊岡市にある「植村直己冒険館」の2館のみである。 <b>【今後の予想される周辺環境】</b> 令和3年度に蓮根から加賀へ移転し、同年9月1日にリニューアルオープンした加賀スポーツセンターとの複合施設となったため、今までとは異なる層の来館者増が実現し、今後もスポーツセンター利用者に積極的に植村冒険館へも足を運ぶよう、アピールしてゆく。 <b>【他自治体との比較】</b> 兵庫県豊岡市にある植村直己冒険館とは展示資料の貸し出しなど連携を深めている。

## 【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)		計画
① 活動指標	来館者数	人	9,649.0	19,886.0	50,000.0	43,453.0	86.9	50,000.0	50,000.0
		達成率(%)	19.3	39.8	100.0	86.9		100.0	令和 7年度
② 活動指標	自然塾・アドベンチャー講座の実施	回	5.0	1.0	18.0	12.0	66.7	20.0	20.0
		達成率(%)	25.0	5.0	90.0	60.0		100.0	令和 5年度
③ 活動指標	自然塾・アドベンチャー講座参加者延べ人数	人	77.0	10.0	434.0	184.0	42.4	412.0	412.0
		達成率(%)	18.7	2.4	105.3	44.7		100.0	令和 5年度
④									
⑤									

### 特記事項

令和2年度 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館（令和2年4月1日～6月1日）及び事業中止あり。令和3年度 同理由休館（令和3年4月27日～5月31日）及び事業中止あり、蓮根から加賀へ移転のため休館（令和3年8月29日～12月17日）

## 【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	
フルコスト	千円	41,407	46,692	111,968	111,968	111,869	
事業費	千円	24,161	24,634	31,358	31,358	31,259	
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
特定財源	千円	0	0	0	0	0	
都支出金	千円	0	0	0	0	0	
特別区債	千円	0	0	0	0	0	
受益者負担	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
一般財源	千円	24,161	24,634	31,358	31,358	31,259	
人件費	千円	14,124	18,936	18,940	18,940	18,940	
正職員	千円	14,124	18,936	18,940	18,940	18,940	
人員	人	1.7	2.3	2.3	2.3	2.3	
再任用等	千円	0	0	0	0	0	
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	3,122	3,122	61,670	61,670	61,670	
減価償却費	千円	3,122	3,122	61,670	61,670	61,670	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	来館者等一人当たりの経費	千円	4.29	2.35	2.24	2.58	2.24

### フルコストの増減理由

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休館や事業中止し、補助金の一部を区に返還した令和2、3年度と比較し、増となった。

# 令和 5年度 事務事業評価表 (令和 4年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	220100 - 007 (公財) 板橋区体育協会運営助成			
担当所属	スポーツ振興課		連絡先	2651
関連所属				

## 【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち			
基本政策	Ⅱ-2心躍るスポーツ・文化			
施策	220100	スポーツに親しむまちづくりの推進		
根拠法令要綱				
計画事業番号		事業期間	~	施設種別

## 【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 板橋区民向けにスポーツの普及振興事業を行う(公財)板橋区体育協会</p> <p>【手段】 運営費を助成する</p> <p>【意図】 スポーツ振興事業を円滑に運営できるようにするため</p> <p>【成果】 区内におけるスポーツの普及振興を図り、区民の心身の健全な育成と明るく豊かな生活の形成に寄与し、健康で活力のある地域社会づくりに貢献する</p>	<p>【現状の周辺環境】 公益法人改革に伴い、平成24年4月1日付で公益財団法人に移行。 区民の生涯学習に対するニーズの多様化により生涯スポーツ・レクリエーション活動への関心がますます高まるなか、積極的なスポーツの普及・振興への取り組みを期待されている。</p> <p>【他自治体との比較】 他自治体においても同様に補助金を支出している。</p> <p>【備考】 主催事業である「高島平ロードレース」(最長20キロ)は、令和3年度からハーフマラソンへ名称変更。</p>

## 【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)		計画
① 活動指標	指導者育成講習会参加者数	人	480.0	1,021.0	1,100.0	1,235.0	112.3	1,250.0	1,250.0
		達成率(%)	43.6	92.8	100.0	112.3		100.0	
② 活動指標	スポーツ振興事業・講習会研修会事業数	事業	7.0	9.0	17.0	15.0	88.2	17.0	17.0
		達成率(%)	41.2	52.9	100.0	88.2		100.0	
③ 活動指標	高島平ロードレース 中学生以下参加者数	人	0.0	0.0	150.0	0.0	0.0	150.0	150.0
		達成率(%)	0.0	0.0	100.0	0.0		100.0	
④ 活動指標	高島平ロードレース参加者数	人	0.0	0.0	1,600.0	0.0	0.0	1,600.0	1,600.0
		達成率(%)	0.0	0.0	100.0	0.0		100.0	
⑤									

特記事項  
令和2、3、4年度とも 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、高島平ロードレース中止。  
なお、令和3年度より高島平ロードレースから「板橋区・高島平ハーフマラソン」へ名称変更

## 【投入コスト・人員】

年度	単位	令和2年度 決算	令和3年度 決算	令和4年度 予算	令和4年度 決算	令和5年度 予算	
フルコスト	千円	25,858	25,243	27,828	24,422	27,800	
事業費	千円	11,035	9,564	12,517	9,111	12,489	
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
特定財源	千円	0	0	0	0	0	
都支出金	千円	0	0	0	0	0	
特別区債	千円	0	0	0	0	0	
受益者負担	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
一般財源	千円	11,035	9,564	12,517	9,111	12,489	
人件費	千円	14,823	15,679	15,311	15,311	15,311	
正職員	千円	1,662	2,470	2,471	2,471	2,471	
人員	人	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	
再任用等	千円	13,161	13,209	12,840	12,840	12,840	
人員	人	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	参加者一人当たりの経費	千円	53.87	24.72	9.76	19.77	9.27

### フルコストの増減理由

R2、R3は新型コロナウイルス感染症の影響により、ロードレース(R3よりハーフマラソン)を始め、講習会等が中止となっている。R4はハーフマラソン以外の事業は実施したものの、補助金を削減している影響で大きく増減していない。

令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 ) モニタリング

事務事業名	220100 - 008 事務諸経費			
担当所属	スポーツ振興課		連絡先	2651
関連所属				

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち			
基本政策	Ⅱ-2心躍るスポーツ・文化			
施策	220100	スポーツに親しむまちづくりの推進		
根拠法令要綱				
計画事業番号		事業期間	~	施設種別

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 スポーツ振興課の他事業に属さないもの</p> <p>【手段】 消耗品等必要経費を支出する</p> <p>【意図】 スポーツ振興の事務事業を円滑に実施するため</p> <p>【成果】 各事業の下支えをする</p>	<p>【現状の周辺環境】 関係団体や個人が大きな大会で好成績をおさめる、あるいは出場する際に区へ表敬訪問を受けている。</p> <p>【他自治体との比較】 他自治体においても大会出場者の懸垂幕を掲出する等、同様の事業を展開している。</p> <p>【備考】 板橋区スポーツセミナーは、緊急経済対策に伴う事業見直しの一環により、令和3年度から委託事業ではなく、共催事業とした。(区の役割は会場確保等とし、委託料の費用負担なし)</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)		計画
① 活動指標	ボランティア保険利用人数	人	1,717.0	1,777.0	1,800.0	1,720.0	95.6	1,800.0	1,800.0
		達成率(%)	95.4	98.7	100.0	95.6		100.0	令和 5年度
② 活動指標	青少年スポーツ指導者講習会参加者数	人	0.0	111.0	240.0	237.0	98.8	360.0	360.0
		達成率(%)	0.0	30.8	66.7	65.8		100.0	令和 5年度
③									
④									
⑤									

特記事項  
「青少年スポーツ指導者講習会」は令和2年度より「板橋区スポーツセミナー」へ名称変更した。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度は1回のみ、令和4年度は2回実施。令和5年度は3回実施を計画。

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
フルコスト	千円	10,531	13,527	10,630	10,630	10,653
事業費	千円	561	1,177	748	748	771
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
特定財源	千円	0	0	0	0	0
都支出金	千円	0	0	0	0	0
特別区債	千円	0	0	0	0	0
受益者負担	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	561	1,177	748	748	771
人件費	千円	9,970	12,350	9,882	9,882	9,882
正職員	千円	9,970	12,350	9,882	9,882	9,882
人員	人	1.2	1.5	1.2	1.2	1.2
再任用等	千円	0	0	0	0	0
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0
減価償却費	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
コスト	千円	—	—	—	—	—

フルコストの増減理由

# 令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 )

<b>事務事業名</b>	220100 - 009 体育施設運営経費			
<b>担当所属</b>	スポーツ振興課		<b>連絡先</b>	2651
<b>関連所属</b>				

## 【事務事業基本情報】

<b>基本目標</b>	Ⅱいきいきかがやく元気なまち			
<b>基本政策</b>	Ⅱ-2心躍るスポーツ・文化			
<b>施策</b>	220100	スポーツに親しむまちづくりの推進		
<b>根拠法令要綱</b>	東京都板橋区立体育施設条例、同施行規則			
<b>計画事業番号</b>		<b>事業期間</b>	~	<b>施設種別</b> 教育関連施設

## 【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<b>【対象】</b> 体育施設を利用する区民 <b>【手段】</b> 体育施設の運営を行う <b>【意図】</b> 区民のスポーツをする機会を増やす <b>【成果】</b> 区内におけるスポーツの普及振興を図り、区民の心身の健全な育成と明るく豊かな生活の形成に寄与し、健康で活力のある地域社会づくりに貢献する	<b>【現状の周辺環境】</b> 平成17年度より指定管理者による管理を行っている。施設の老朽化が進み、設備の整備経費が増加している。 <b>【今後の予想される周辺環境】</b> 今後、新型コロナウイルス感染症の影響により、新しい生活様式にあわせた施設運営が求められていく。 <b>【アンケート・統計調査】</b> 指定管理者による体育施設利用者アンケートを年2回実施している。施設の充実度・清掃状況等、満足度は高い。 <b>【備考】</b> 東板橋体育館は大規模改修を経て令和3年9月1日に加賀スポーツセンターとしてリニューアルオープンした。改修による休館期間(令和2年2月1日~令和3年8月31日)

## 【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)		計画
① 活動指標	体育施設利用者数	万人	100.0	125.0	173.0	153.0	88.4	176.0	182.0
		達成率(%)	54.9	68.7	95.1	84.1		96.7	
② 成果指標	利用者満足度の向上	%	92.2	93.3	94.0	93.5	99.6	94.0	94.0
		達成率(%)	98.1	99.3	100.0	99.6		100.0	令和 5年度
③									
④									
⑤									

### 特記事項

【新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う体育施設の対応】令和元年度；令和2年3月2日~一般公開（個人利用）を中止  
 令和2年度；令和2年4月8日~5月31日 全館休館（屋外施設は5月30日から営業再開）、令和3年1月8日~3月21日 令和3年度；令和3年4月26日~5月31日 全館休館（屋外施設は5月12日より時短営業再開）令和3年7月1日~8月20日まで小豆沢体育館休館（イタリア来日のため）。

## 【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	
フルコスト	千円	1,215,329	1,278,727	1,480,307	1,555,683	1,860,189	
事業費	千円	753,926	799,904	1,012,848	1,088,224	1,392,730	
国庫支出金	千円	0	0	0	14,343	0	
特定財源	千円	0	2,694	0	0	0	
都支出金	千円	0	0	0	0	0	
特別区債	千円	161,000	0	0	0	0	
受益者負担	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	204,752	21,152	22,576	18,745	37,871	
一般財源	千円	388,174	776,058	990,272	1,055,136	1,354,859	
人件費	千円	10,800	26,346	7,412	7,412	7,412	
正職員	千円	10,800	26,346	7,412	7,412	7,412	
人員	人	1.3	3.2	0.9	0.9	0.9	
再任用等	千円	0	0	0	0	0	
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	450,603	452,477	460,047	460,047	460,047	
減価償却費	千円	450,603	452,477	460,047	460,047	460,047	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	利用者一人当たりの経費	千円	1.22	1.02	0.86	1.02	1.06

### フルコストの増減理由

工事案件の増、指定管理料（光熱水費）の増

### 【前回の二次評価結果への対応状況】

前回の二次評価内容	
評価評語／改善の方向性	概ね順調／工夫して継続
<p>体育施設は22箇所もあり、利用者も多い。利用者に安全で快適なスポーツ環境を提供するため、指定管理者と連携し、魅力的な施設運営を図り、適時適切な施設改修計画も行う。令和4年度はコロナによる休館等もなく、フルで営業出来たおかげで利用者も令和2、3年度に比べ増えた。</p>	
前回の二次評価結果への対応状況	
対応状況	一部対応済
<p>適時適切な施設改修について庭球場の人工芝張替や屋内施設の改修工事などを計画的に実施した。また、利用者数についても令和4年度はコロナ前の90%程度まで戻ってきた。</p>	

### 【一次評価】所管課長による評価

[活動結果や成果の分析]		達成度	B
1. 活動指標の計画値を満したか	70%~90%がある		
2. 成果指標の計画値を満したか	全てが90%以上		
3. 計画どおり進捗しなかった理由を入力してください	<p>コロナの影響を受けた令和2、3年度に比べると令和4年度の体育施設利用者は増えたが、コロナ前の90%程度で十分戻ってきたとは言えない。</p>		
[中間アウトカムとの整合性]		寄与度	B
(事務事業は) 中間アウトカムに寄与しているか	寄与している		
<p>令和4年度はコロナに寄る休館対応もなかった分、利用者が安心して利用できるような感染対策等を徹底し、満足度の高い施設運営ができており、利用者数にも表れている。</p>			
[フルコストの把握・分析]		コスト評価	A
1. コストは最適であるか	最適である		
2. コスト最適化への取組状況			
<p>引き続き指定管理者と密に連携を図ることで安全で魅力的な施設運営を実施してゆく。また、施設改修には多額の改修経費が必要となるが、修繕費やランニングコストを抑制する側面もあるため、今度も適切な改修計画を練ってゆく。</p>			
[改善の方向性]			
1. 方向性を選択してください	工夫して継続		
2. 具体的な手段を選択してください	コスト増大／活動・成果指標の向上		
3. 中間アウトカムの成果向上に向けた改善策について			
<p>引き続き指定管理者と密に連携を図ることで安全で魅力的な施設運営を実施してゆく。また、施設改修には多額の改修経費が必要となるが、修繕費やランニングコストを抑制する側面もあるため、今度も適切な改修計画を練ってゆく。</p>			

### 【二次評価】所管部長による評価

評価評語／改善の方向性	順調／工夫して継続
<p>多種多様に及ぶ利用者ニーズに耳を傾けつつ、指定管理者との連携を図りながら、魅力ある事業展開（ソフト）、施設改修計画（ハード）、双方の視点からよりよい施設運営を図る。</p>	

# 令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 ) モニタリング

事務事業名	220100 - 010 高齢者スポーツ振興			
担当所属	スポーツ振興課		連絡先	3579-2652
関連所属				

## 【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち			
基本政策	Ⅱ-2心躍るスポーツ・文化			
施策	220100	スポーツに親しむまちづくりの推進		
根拠法令要綱				
計画事業番号		事業期間	昭和52年度 ~	施設種別

## 【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】</p> <p>①高齢者スポーツ大学⇒区内在住の65歳以上かつ医師から運動を止められていない全日程参加できる健康な方</p> <p>②シニアグラウンド・ゴルフ大会⇒区内在住・在勤の65歳以上で、医師に運動を止められていない方</p> <p>【手段】</p> <p>スポーツ教室の実施</p> <p>競技大会の実施</p> <p>【意図】</p> <p>生涯スポーツの振興を図るため、中高年層を対象としたスポーツ事業・スポーツ教室を実施する。</p> <p>【成果】</p> <p>高齢者スポーツ大学修了者により、同窓会組織が設立され、事業終了後も様々なスポーツに親しんでいる。</p>	<p>【現状の周辺環境】</p> <p>高齢者スポーツ事業については、各事業において定員を超える申し込みがある。特に高齢者スポーツ大学については、定員を大きく上回るため、これまで隔年で実施していたものを平成22年度より毎年実施とした。</p> <p>【他自治体との比較】</p> <p>他自治体においても同様に高齢者スポーツ事業が行われている。</p>

## 【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率 (%)		計画
① 活動指標	高齢者スポーツ大学参加者数	人	0.0	0.0	60.0	58.0	96.7	60.0	令和 5年度
		達成率 (%)	0.0	0.0	100.0	96.7		100.0	
② 活動指標	シニアグラウンド・ゴルフ大会参加者数	人	0.0	0.0	200.0	132.0	66.0	200.0	令和 5年度
		達成率 (%)	0.0	0.0	100.0	66.0		100.0	
③									
④									
⑤									

**特記事項**  
 高齢者スポーツ大学は、令和2年度は高齢者に向けた東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会機運醸成事業を実施予定のため休止、令和3年度は新型コロナウイルスの関係で休止。シニア・グラウンドゴルフ大会は新型コロナウイルスの関係で令和2年度は中止・令和3年度は休止。

## 【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
フルコスト	千円	0	0	2,869	2,821	2,877
事業費	千円	0	0	398	350	406
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
特定財源	千円	0	0	109	104	114
都支出金	千円	0	0	0	0	0
特別区債	千円	0	0	232	193	232
受益者負担	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	0	0	57	53	60
人件費	千円	0	0	2,471	2,471	2,471
正職員	千円	0	0	2,471	2,471	2,471
人員	人	0.0	0.0	0.3	0.3	0.3
再任用等	千円	0	0	0	0	0
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0
減価償却費	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
コスト指標	参加者一人あたり	—	—	—	—	—

### フルコストの増減理由

講師謝礼・大量硬貨両替手数料の増加

令和 5年度 施策評価表 モニタリング

施策名	220200 地域の歴史・文化の保全・継承・活用の推進						
SDGs (関連性のあるGOAL)	4 質の高い教育を みんなに	9 産業と技術革新の 基盤をつくろう	11 住み続けられる まちづくりを	17 パートナーシップで 目標を達成しよう			
基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち						
基本政策	Ⅱ-2心躍るスポーツ・文化						
所管部長	教育委員会事務局長			所管課長	生涯学習課長		
関連所管							

【施策基本情報】

施策概要(「基本計画2025」)	施策のアウトカムイメージ
<p>【概要】 文化財の活用や郷土芸能の普及によって、地域の歴史・文化を次世代へ継承する。</p> <p>【関係課または区以外の主体が施策実現に果たす役割】 板橋の歴史や伝統文化を理解し、未来へ保存・継承する。</p> <p>【主な取り組み】 文化財公開事業 文化財教育普及事業 郷土資料館管理運営 近代化遺産群史跡公園の整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の歴史・文化を次世代に継承するために、各年代に応じた様々な事業が実施されている。</li> <li>区民が、郷土資料館を通じて、板橋の魅力を再発見し、より一層郷土板橋への愛着と誇りが深まっている。</li> </ul>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	目標値
			実績	実績	実績	計画	目標年度
施策指標	① 文化財を活用した事業への参加率	%	77.5	59.0	73.1	60.0	60.0
		達成率(%)	129.2	98.3	121.8	100.0	令和 7年度
	② 入館者数(郷土資料館)	人	21,220.0	22,719.0	30,439.0	45,000.0	45,000.0
		達成率(%)	47.2	50.5	67.6	0.0	令和 5年度
	③ 郷土芸能伝承館の施設利用率	%	32.0	32.1	40.0	56.0	60.0
		達成率(%)	53.3	53.5	66.7	93.3	令和 6年度
	④						
		達成率(%)					
	⑤						
		達成率(%)					
特記事項							
・指標①は、事業の定員に対する参加者の率である。							

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	
フルコスト	千円	364,944	331,671	313,019	324,260	293,878	
事業費	千円	205,572	172,751	158,946	159,565	130,830	
特定財源	国庫支出金	千円	8,890	3,632	16,914	16,484	9,931
	都支出金	千円	22,601	32,785	8,456	8,241	4,965
	特別区債	千円	0	0	0	0	0
	受益者負担	千円	1,065	1,238	1,615	1,540	1,556
	その他	千円	779	1,779	280	294	294
一般財源	千円	172,237	133,317	131,681	133,006	114,084	
人件費合計	千円	141,236	140,784	134,231	142,466	140,819	
経費	千円	18,136	18,136	19,842	22,229	22,229	

フルコストの増減理由

旧粕谷家住宅経費の減(放水銃・管理棟設置終了による工事請負費の減等)

施策名	220200	地域の歴史・文化の保全・継承・活用の推進
-----	--------	----------------------

**【前回の評価結果への対応状況】**

<b>前回の評価内容</b>		
評価用語／改善の方向性		
<b>前回の評価結果への対応状況</b>		
対応状況		

**【一次評価】所管部長による評価**

<b>[成果の分析] 1. 施策目標に対する成果（実績値）の推移</b>		
評価		
<b>[成果の分析] 2. 目標と成果にギャップがある場合の要因</b>		
<b>[アウトカムの分析] 最終アウトカム（施策目標）を実現するための中間アウトカムは妥当か</b>		
評価		
<b>[環境変化の分析] 環境変化への対応状況について（社会状況や区民ニーズに対応できたか）</b>		
評価		
<b>[今後の展開方針] 施策の抱える課題を踏まえ、最終アウトカムの実現に向けて、施策をどう展開していくか</b>		

**【外部評価】行政評価委員会による評価**

評価用語／改善の方向性	

**【二次評価】区の最終評価**

評価用語／改善の方向性	





令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 )

事務事業名	220200 - 001	文化財保護管理経費			連絡先	3579-2636
担当所属	生涯学習課					
関連所属						

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち					
基本政策	Ⅱ-2心躍るスポーツ・文化					
施策	220200	地域の歴史・文化の保全・継承・活用の推進				
根拠法令要綱	文化財保護法 板橋区文化財保護条例、同条例施行規則					
計画事業番号	016	事業期間	平成 2年度 ~	施設種別		

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】</p> <p>①区民 ②文化財調査及び埋蔵文化財調査により発見された文化財</p> <p>【手段】</p> <p>①郷土芸能大会・いたばしの郷土芸能・文化財講座・史跡散歩・ふるさと文化伝承事業・いたばし文化財ふれあいウィーク等を実施する(教育普及・文化財公開推進)。</p> <p>②板橋区文化財保護条例に基づき、公共的見地から保存に努めるべきものを文化財として登録(登録文化財)し、そのうち特に重要なものを別途指定(指定文化財)する(保護管理)。</p> <p>【意図】</p> <p>身近な視点で文化財に接し、実演・体験等を通じて文化財や郷土芸能への保護意識を醸成する。</p> <p>【成果】</p> <p>区内の文化財について理解することで、区民が率先して次世代のために資料やデータを保護できるようになる。</p>	<p>【アンケート・統計調査】</p> <p>受講者・参加者アンケートで、各講座とも8割以上の方から高評価を得ており、事業の継続を希望されている。</p> <p>【区民からの意見】</p> <p>①無形民俗文化財を周知・公開するための郷土芸能大会等の事業や文化財講座は、区民の多くから支持を得ており、事業の継続と周知方法の拡大を希望されている。また、講座の実施回数増加を要望されている。</p> <p>②区内に存在する文化財に関して登録されているか否かについての問い合わせや、新たに登録・保存してほしい旨の申出もある。</p> <p>【他自治体との比較】</p> <p>①他自治体でも無形民俗文化財を周知・公開する事業を実施している。</p> <p>②自治体により登録・指定文化財に対する奨励金・補助金の交付方法に若干の相違がある。</p> <p>③文化財ふれあいウィークは、各自自治体でも文化の日を中心に実施し、特に古民家については、保存している区がその時期に共同で周知・公開に努めている。</p> <p>【備考】</p> <p>事務事業内訳：教育普及(文化財)、保護管理(文化財)、文化財公開推進事業</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	登録文化財(指定文化財)件数	件	189.0	191.0	193.0	190.0	98.4	192.0	200.0
		達成率(%)	94.5	95.5	96.5	95.0		96.0	令和 7年度
② 成果指標	郷土芸能大会・いたばしの郷土芸能・説経浄瑠璃鑑賞会参加者数	人	0.0	133.0	1,000.0	667.0	66.7	1,000.0	1,000.0
		達成率(%)	0.0	13.3	100.0	66.7		100.0	令和 7年度
③ 成果指標	文化財講座・史跡散歩参加者数	人	93.0	180.0	400.0	212.0	53.0	400.0	400.0
		達成率(%)	23.3	45.0	100.0	53.0		100.0	令和 7年度
④ 成果指標	いたばし文化財ふれあいウィーク参加者数	人	0.0	898.0	2,000.0	1,090.0	54.5	2,000.0	2,000.0
		達成率(%)	0.0	44.9	100.0	54.5		100.0	令和 7年度
⑤		達成率(%)							

**特記事項**  
 指標①は、文化財の技術保持者の逝去により減となった。指標②③④は、新型コロナウイルス感染症対策として行われた行動制限の緩和に伴い、実施事業数は回復したが、定員の制限などの影響によりコロナ禍前の参加者数には至っていない。

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	
フルコスト	千円	162,246	152,587	83,197	89,197	87,913	
事業費	千円	106,447	94,821	22,706	30,353	27,422	
特定財源	千円						
国庫支出金	千円	1,401	1,412	1,571	6,511	1,571	
都支出金	千円	18,857	31,675	785	3,255	785	
特別区債	千円	0	0	0	0	0	
受益者負担	千円	0	2	84	53	89	
その他	千円	512	1,506	22	17	17	
一般財源	千円	85,677	60,226	20,244	20,517	24,960	
人件費	千円	55,664	57,631	57,645	55,998	57,645	
正職員	千円	55,664	57,631	57,645	55,998	57,645	
人員	人	6.7	7.0	7.0	6.8	7.0	
再任用等	千円	0	0	0	0	0	
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	135	135	2,846	2,846	2,846	
減価償却費	千円	135	135	2,846	2,846	2,846	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	公開事業参加者1人あたり	千円	47.72	126.00	24.47	45.30	25.86

フルコストの増減理由

旧粕谷家住宅経費の減(放水銃・管理棟設置終了による工事請負費の減等)

**【前回の二次評価結果への対応状況】**

前回の二次評価内容	
評価評語／改善の方向性	概ね順調／事業手法の見直し
<p>新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、多くの事業においてその手法について見直す機会を設けて開催の判断を行った。旧粕谷家住宅に関しては、放水銃・管理棟設置工事が計画どおりに完了した。今後は、公開・普及事業を通じて歴史的価値の継承や区の文化観光拠点としての魅力発信のため活用を推進していく。同時に、郷土芸能伝承館や郷土資料館など赤塚地域全体を文化資源と捉え、引き続き多様な事業を展開していく。</p>	
前回の二次評価結果への対応状況	
対応状況	対応済
<p>旧粕谷家住宅は放水銃・管理棟設置工事が完了し、通年公開を再開した。文化財講座での古民家めぐりの実施、新型コロナウイルス感染症の影響により休止していた「室礼（しつらい）」教室の再開など、普及・活用を進めている。また、郷土資料館において築300年記念の企画展を実施し、広く赤塚地域での事業展開を行った。</p>	

**【一次評価】所管課長による評価**

[活動結果や成果の分析]		達成度	B
1. 活動指標の計画値を満したか	全てが90%以上		
2. 成果指標の計画値を満したか	70%未満がある		
3. 計画どおり進捗しなかった理由を入力してください	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、いたばしの郷土芸能や文化財講座などの定員を制限する措置を行ったことに加え、依然として集団・対面で行う事業への参加を控える傾向があり、応募人数の減やキャンセルの増が見られたことから、計画値に及ばなかった。</p>		
[中間アウトカムとの整合性]		寄与度	A
(事務事業は) 中間アウトカムに寄与しているか	大きく寄与している		
<p>日常的な有形無形文化財の調査とデータ作成、保護管理を進めることで、文化財講座などの普及事業や、埋蔵文化財を活用した講座による学校教育との連携が可能となった。これは、地域の歴史・文化の保全・継承・活用を推進するうえで重要な文化財保護意識の醸成に寄与したと評価できる。</p>			
[フルコストの把握・分析]		コスト評価	B
1. コストは最適であるか	最適化に取り組んでいる		
2. コスト最適化への取組状況	<p>文化財は調査以外に維持・継承にも経費を要するため、文化財所有者・保持者への補助金・奨励金や無形民俗文化財公開における出演謝礼など、文化財保護に不可欠な経費を含んでいる。一方で、公開・普及事業の企画は職員が担い、文化財講座の一部は職員が講師を務めるほか、消耗機材等も節減している。埋蔵文化財調査には国・都の補助金交付を受けている。</p>		
[改善の方向性]			
1. 方向性を選択してください	事業手法の見直し		
2. 具体的な手段を選択してください	コスト維持／活動・成果指標の向上		
3. 中間アウトカムの成果向上に向けた改善策について	<p>文化財保護意識醸成に向け、令和5年度は、事業の実施形態を新型コロナウイルス感染症対策緩和後に適したものにし、内容をさらに充実させ、文化財活用事業への参加率向上を図る。地域に点在する施設を面で捉えた事業を引き続き活用し、他課とも連携することにより参加者増に繋げるとともに、区民の文化財に対する認知・愛着向上のため、SNSを含めた情報発信に力を入れていく。</p>		

**【二次評価】所管部長による評価**

評価評語／改善の方向性	概ね順調／事業手法の見直し
<p>新型コロナウイルス感染症の影響により中止が続いていた事業を、対策を講じつつ工夫して再開した。令和5年度は、対策緩和後に適した実施形態に移行する必要がある。旧粕谷家住宅については、公開を再開するとともに、「室礼教室」をはじめ区民が現地で参加することにより文化財としての価値や魅力を実感できる事業を実施している。今後も歴史的価値の継承や区の文化観光拠点としての魅力発信のため活用を推進すると同時に、郷土芸能伝承館や郷土資料館など赤塚地域全体を文化資源と捉え、連携を図りながら多様な事業を展開していく。</p>	

令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 ) モニタリング

事務事業名	220200 - 002 埋蔵文化財整理室等維持管理経費			
担当所属	生涯学習課		連絡先	3579-2636
関連所属				

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち			
基本政策	Ⅱ-2心躍るスポーツ・文化			
施策	220200	地域の歴史・文化の保全・継承・活用の推進		
根拠法令要綱	文化財保護法 板橋区文化財保護条例、同条例施行規則			
計画事業番号		事業期間	平成 2年度 ~	施設種別

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 区民</p> <p>【手段】 有形・無形文化財及び埋蔵文化財の調査に伴う実測図面や写真は蓮根文化財整理室、出土遺物類は文化財・埋蔵文化財整理室及び学校・廃校の余裕教室で收藏管理を行う。文化財係で購入または寄贈を受けた図書・刊行物のうち歴史・民俗関係は赤塚七丁目埋蔵文化財整理室、考古学関係は蓮根文化財整理室で收藏・保管する。</p> <p>【意図】 文化財を管理・活用し、これを後世に伝承することで、区や地域の歴史等への理解を広めることにつなげる。</p> <p>【成果】 埋蔵文化財の出土遺物や資料を区民に公開し活用することにより、区民一人ひとりの文化財保護に対する意識が向上する。</p>	<p>【現状の周辺環境】 令和 4年度に蓮根文化財整理室を整備・移転し、整理室を蓮根・成増・赤塚七丁目の3か所に集約した。</p> <p>【今後の予想される周辺環境】 文化財の活用が求められており、收藏管理している出土遺物や資料を用いた公開・普及事業などを進める必要がある。</p> <p>【他自治体との比較】 埋蔵文化財センター等を設置し、一括管理・公開している自治体がある。また、遠隔地にある自治体関連施設内に收藏庫を建設し、資料を移している事例がある。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度			令和 5年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率 (%)	計画	
① 活動指標	寄贈資料数	冊	347.0	478.0	—	375.0	—	—	—
		達成率 (%)	—	—	—	—	—	—	—
② 活動指標	累計出土遺物量 (コンテナ)	箱	7,095.0	7,121.0	—	7,151.0	—	—	—
		達成率 (%)	—	—	—	—	—	—	—
③									
④									
⑤									
特記事項									

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	
フルコスト	千円	12,200	11,582	19,744	21,570	14,719	
事業費	千円	3,167	2,609	10,769	9,301	5,744	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	14	14	14	16	16
一般財源	千円	3,153	2,595	10,755	9,285	5,728	
人件費	千円	6,646	6,586	6,588	9,882	6,588	
正職員	千円	6,646	6,586	6,588	9,882	6,588	
	人員	人	0.8	0.8	0.8	1.2	0.8
再任用等	千円	0	0	0	0	0	
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	2,387	2,387	2,387	2,387	2,387	
減価償却費	千円	2,387	2,387	2,387	2,387	2,387	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	累計出土遺物量 1コンテナあた	千円	1.72	1.63	—	3.02	—

フルコストの増減理由

- ①文化財整理室移転に伴う経費の増 (委託料・工事請負費等)
- ②新公会計制度導入により、平成30年度決算より減価償却費を計上している。

# 令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 ) モニタリング

事務事業名	220200 - 003 郷土資料館管理運営経費			
担当所属	生涯学習課		連絡先	5998-0081
関連所属				

## 【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち				
基本政策	Ⅱ-2心躍るスポーツ・文化				
施策	220200	地域の歴史・文化の保全・継承・活用の推進			
根拠法令要綱	東京都板橋区立郷土資料館条例、同条例施行規則				
計画事業番号		事業期間	~	施設種別	教育関連施設

## 【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<b>【対象】</b> 区民をはじめとして多くの方々 <b>【手段】</b> 郷土に関する考古、歴史、民俗等の資料を収集、保管、展示する。 <b>【意図】</b> 来館者自身が地域との関わりを理解するとともに地域を身近に感じ、また、文化伝統に接する。 <b>【成果】</b> 多くの方々に「郷土“板橋”」を意識してもらおう。	<b>【アンケート・統計調査】</b> ・利用者アンケートの結果では、各展示会の内容によって動きはあるが、約9割の方々から「大変よかった」若しくは「よかった」との評価を得ている。 <b>【区民からの意見】</b> ・赤塚公園、美術館に隣接する環境から、近くの高齢者施設利用者が散策がてら、少人数の団体で来館されることが多い。 ・古民家や昔の民具・写真などの展示物に触れ、当手を懐かしむ声が聞かれる。また、季節ごとの植物を楽しむため、リピートされる方も非常に多い。

## 【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)		計画
① 活動指標	展示会実施回数	回	3.0	4.0	4.0	4.0	100.0	4.0	4.0
		達成率(%)	75.0	100.0	100.0	100.0		100.0	令和 7年度
② 活動指標	各種講座参加人数	人	1,177.0	2,753.0	1,000.0	2,075.0	207.5	2,500.0	2,500.0
		達成率(%)	47.1	110.1	40.0	83.0		100.0	令和 7年度
③ 成果指標	入館者数	人	21,220.0	22,719.0	40,000.0	30,439.0	76.1	45,000.0	45,000.0
		達成率(%)	47.2	50.5	88.9	67.6		100.0	令和 5年度
④									
⑤									

### 特記事項

新型コロナウイルス感染拡大のため、団体客の受入れ制限も影響し、入館者数が減少していたものの、令和4年度の入館者数は前年度比で約1.34倍に増加した。  
引き続き展示や講座をとおして、資料館の魅力を発信し、入館者数の増加を図る。

## 【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	
フルコスト	千円	114,208	113,862	147,316	139,773	125,537	
事業費	千円	46,305	46,484	78,542	70,999	56,763	
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
特定財源	千円	0	0	0	0	0	
都支出金	千円	0	0	0	0	0	
特別区債	千円	0	0	0	0	0	
受益者負担	千円	1,065	1,236	1,531	1,487	1,467	
その他	千円	160	166	166	169	169	
一般財源	千円	45,080	45,082	76,845	69,343	55,127	
人件費	千円	58,156	57,631	57,645	57,645	57,645	
正職員	千円	58,156	57,631	57,645	57,645	57,645	
人員	人	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	
再任用等	千円	0	0	0	0	0	
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	9,747	9,747	11,129	11,129	11,129	
減価償却費	千円	9,747	9,747	11,129	11,129	11,129	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	来館者1人あたり	千円	5.38	5.01	3.68	4.59	2.79

### フルコストの増減理由

・令和4年度は、古民家屋根茅葺替え外壁修繕工事経費が措置されていたため増額となった。

# 令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 ) モニタリング

<b>事務事業名</b>	220200 - 004 郷土芸能伝承館運営経費		
<b>担当所属</b>	生涯学習課		<b>連絡先</b> 3579-2636
<b>関連所属</b>			

## 【事務事業基本情報】

<b>基本目標</b>	Ⅱいきいきかがやく元気なまち		
<b>基本政策</b>	Ⅱ-2心躍るスポーツ・文化		
<b>施策</b>	220200	地域の歴史・文化の保全・継承・活用の推進	
<b>根拠法令要綱</b>	板橋区立郷土芸能伝承館条例、同条例施行規則		
<b>計画事業番号</b>		<b>事業期間</b> 平成 元年度 ~	<b>施設種別</b>

## 【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p><b>【対象】</b> 登録・指定文化財である民俗芸能または芸能を保存・伝承する団体等</p> <p><b>【手段】</b> 郷土芸能の伝承、後継者育成等のための練習の場所を提供する。</p> <p><b>【意図】</b> 区民の文化の向上を図る。</p> <p><b>【成果】</b> 後継者の育成が確実に進められることにより、郷土芸能が確実に伝承される。</p>	<p><b>【現状の周辺環境】</b> 郷土芸能伝承館の利用者には、太鼓や里神楽など大きな用具を使用する団体が多く、車で来館する利用者が多いが、駐車場がない。利用者から駐車場の要望があった場合は、隣接の北野神社に断って神社駐車場に駐車している。今後も協力を得られるよう調整していく必要がある。</p> <p><b>【アンケート・統計調査】</b> 利用者アンケートには、職員の対応、設備、館内の快適性・衛生面等の項目があり、いずれも利用者からの評価・満足度は高い。</p> <p><b>【区民からの意見】</b> 冷暖房の改善要望が多かったが、令和5年度に緊急工事で対応する。ほか、利用申込・支払方法、太鼓（数量、台の修繕）に関する意見がある。</p> <p><b>【他自治体との比較】</b> 郷土芸能伝承館は、区の文化財である民俗芸能や芸能をはじめ、文化・芸能の練習・調査・研究等を行う団体に利用を認めている教育委員会事務局所管の施設で、全国的に見ても特殊である。</p>

## 【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)		計画
① 成果指標	郷土芸能伝承館利用者満足度	%	89.0	88.0	90.8	86.0	94.7	90.8	91.0
			達成率(%)	97.8	96.7	99.8	94.5		
② 成果指標	郷土芸能伝承館施設利用率	%	32.0	32.1	56.0	40.0	71.4	56.0	60.0
			達成率(%)	53.3	53.5	93.3	66.7		
③									
④									
⑤									

### 特記事項

令和4年度の施設利用率は、新型コロナウイルス感染症対策が緩和されたことにより前年度と比較して上昇しているが、まだコロナ禍前の数値には戻っていない。

## 【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	
フルコスト	千円	30,310	28,219	28,179	27,824	28,911	
事業費	千円	21,120	19,882	19,841	19,486	20,573	
特定財源							
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
都支出金	千円	0	0	0	0	0	
特別区債	千円	0	0	0	0	0	
受益者負担	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	93	93	92	92	92	
一般財源	千円	21,027	19,789	19,749	19,394	20,481	
人件費	千円	3,323	2,470	2,471	2,471	2,471	
正職員	千円	3,323	2,470	2,471	2,471	2,471	
人員	人	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	
再任用等	千円	0	0	0	0	0	
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	5,867	5,867	5,867	5,867	5,867	
減価償却費	千円	5,867	5,867	5,867	5,867	5,867	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	練習室・集会室利用1回あたり	千円	51.90	43.21	24.17	31.48	24.80

### フルコストの増減理由

- ①新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う補償金の減
- ②新公会計制度導入により、平成30年度決算より減価償却費を計上している。

# 令和 5年度 事務事業評価表 (令和 4年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	220200 - 005 (仮称) 史跡公園整備経費 (生涯学習課)		
担当所属	生涯学習課		連絡先 3579-2664
関連所属	施設経営課 産業振興課 みどりと公園課		

## 【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち		
基本政策	Ⅱ-2心躍るスポーツ・文化		
施策	220200	地域の歴史・文化の保全・継承・活用の推進	
根拠法令要綱	文化財保護法 文化財保護法施行令 歴史活き活き! 史跡等総合活用整備事業費国庫補助要綱 東京都文化財保存事業費補助金交付要綱 板橋区文化財保護条例 板橋区文化財保護条例施行規則		
計画事業番号	015	事業期間	平成28年度 ~ 施設種別 教育関連施設

## 【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 区民等</p> <p>【手段】 平成29年度に国史跡に指定された「陸軍板橋火薬製造所跡」を、近代化・産業遺産を保存・活用した都内初となる史跡公園として整備する。</p> <p>【意図】 身近な文化財を通じて板橋の産業発展や地域の歴史、平和に対する学びの機会を提供し、併せてふるさと板橋を大切にすることを醸成する。また、史跡公園を板橋の新たなシンボルとして魅力を発信していくことにより、「ものづくりの板橋」としてのブランド力のさらなる向上と定着を図る。</p> <p>【成果】 史跡公園を取り囲む旧加賀藩下屋敷、中山道の宿場町として栄えた板橋宿を中心とする板橋地区、さらには区全域に好影響を及ぼし、将来的には区民にとって暮らし続けたいまち、来訪者にとっては、また訪れたいまちの実現に貢献する。</p>	<p>【開始時の周辺環境】 明治9年に発足した板橋火薬製造所の遺構・建造物が残ることから、近代化遺産として評価を受け、平成29年に国史跡として指定された。</p> <p>【現状の周辺環境】 当地を近代史跡・近代化遺産を中心とする史跡公園として整備するため、計画策定や調査活動を行っている。</p> <p>【区民からの意見】 令和2年1月に実施したパブリックコメントでは、史跡公園に対する期待が多く寄せられた。</p> <p>【他自治体との比較】 近代化遺産として国史跡指定を受けているのは、全国の国指定史跡の2% (令和元年度) にすぎず、さらに史跡公園として整備している例は非常に少ない。</p>

## 【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度			令和 5年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率 (%)	計画	目標年度
① 活動指標	展示事業実施回数	回	0.0	1.0	1.0	1.0	100.0	3.0	0.0
		達成率 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	
② 活動指標	史跡公園整備委員会開催数	回	4.0	4.0	5.0	4.0	80.0	4.0	0.0
		達成率 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	
③ 活動指標	資料調査	回	35.0	13.0	0.0	27.0	0.0	36.0	0.0
		達成率 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	
④ 活動指標	文化庁・東京都・学識経験者との協議	回	24.0	34.0	0.0	71.0	0.0	80.0	0.0
		達成率 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	
⑤									

特記事項







## 【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
フルコスト	千円	45,980	25,421	54,327	45,896	36,798
事業費	千円	28,533	8,955	37,857	29,426	20,328
特定財源	千円					
国庫支出金	千円	7,489	2,220	15,343	9,973	8,360
都支出金	千円	3,744	1,110	7,671	4,986	4,180
特別区債	千円	0	0	0	0	0
受益者負担	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	17,300	5,625	14,843	14,467	7,788
人件費	千円	17,447	16,466	16,470	16,470	16,470
正職員	千円	17,447	16,466	16,470	16,470	16,470
人員	人	2.1	2.0	2.0	2.0	2.0
再任用等	千円	0	0	0	0	0
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0
減価償却費	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
コスト指標	千円	—	—	—	—	—

### フルコストの増減理由

史跡整備年度計画により整備事業を実施しており、各年度毎の事業内容に伴いフルコストが増減している。

令和 5年度 施策評価表 モニタリング

施策名	220300	個性ある文化芸術の創造と活動の支援					
SDGs (関連性のあるGOAL)	     						
基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち						
基本政策	Ⅱ-2心躍るスポーツ・文化						
所管部長	区民文化部長			所管課長	文化・国際交流課長		
関連所管							

【施策基本情報】

<p>施策概要（「基本計画2025」）</p> <p>【概要】 文化芸術創造活動に対する支援と文化芸術へいざなう機会の充実を図るとともに、「絵本のまち」など板橋区ならではの代表的な文化イメージを推進し、魅力ある地域文化・芸術をはぐくむ。</p> <p>【関係課または区以外の主体が施策実現に果たす役割】 文化・国際交流財団…地域文化の創造を支援する文化芸術振興の牽引役 文化団体連合会…24の文化団体による文化芸術活動と振興の担い手</p> <p>【主な取り組み】 文化事業運営、（公財）板橋区文化・国際交流財団運営助成、文化会館・グリーンホール運営、美術館運営など</p>	<p>施策のアウトカムイメージ</p> <p>区内の文化や魅力を発掘するとともに、「絵本のまち」をはじめ歴史ある伝統文化を有する板橋ならではの文化の創造・発信がされている。</p>
---	--

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	目標値
			実績	実績	実績	計画	目標年度
施策指標	① 文化会館の施設稼働率（大ホール・小ホール）	%	46.1	67.2	86.7	75.0	75.0
		達成率(%)	61.5	89.6	115.6	100.0	令和 7年度
	② 過去1年間に文化芸術にふれた区民の割合	%	—	74.6	—	100.0	100.0
		達成率(%)	—	74.6	—	100.0	令和 7年度
	③ 過去1年間に文化財に触れた区民の割合	%	—	4.4	—	15.0	15.0
		達成率(%)	—	29.3	—	100.0	令和 7年度
	④ 絵本文化の発信・醸成事業の参加者数	人	9,085.0	11,158.0	11,640.0	12,000.0	12,000.0
		達成率(%)	75.7	93.0	97.0	100.0	令和 7年度
	⑤ 美術館入館者数	人	30,159.0	31,656.0	34,932.0	55,000.0	55,000.0
		達成率(%)	54.8	57.6	63.5	100.0	令和 7年度
<p>特記事項</p> <p>指標①は新型コロナウイルス拡大に伴う休館等により令和2年度の実績は大幅に減少したが、令和3年度以降は回復傾向にある。</p> <p>指標②・③は隔年実施の区民意識意向調査結果。</p> <p>指標④・⑤は令和2年度に新型コロナウイルスの影響で減少したが、令和3年度以降は回復傾向にある。</p>							

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	
フルコスト	千円	1,006,027	883,716	1,156,984	1,224,696	942,488	
事業費	千円	693,848	559,332	854,592	922,304	656,567	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	22,785	16,398	24,846	14,855	14,173
	その他	千円	6,339	8,990	11,245	10,426	12,799
一般財源	千円	664,724	533,944	818,501	897,023	629,595	
人件費合計	千円	149,777	156,713	134,394	134,394	117,923	
経費	千円	162,402	167,671	167,998	167,998	167,998	

フルコストの増減理由

文化会館・グリーンホールの改修案件の金額によりフルコストも増減する。



施策名	220300	個性ある文化芸術の創造と活動の支援
-----	--------	-------------------

**【前回の評価結果への対応状況】**

<b>前回の評価内容</b>		
評価用語／改善の方向性		
<b>前回の評価結果への対応状況</b>		
対応状況		

**【一次評価】所管部長による評価**

<b>[成果の分析] 1. 施策目標に対する成果（実績値）の推移</b>		
評価		
<b>[成果の分析] 2. 目標と成果にギャップがある場合の要因</b>		
<b>[アウトカムの分析] 最終アウトカム（施策目標）を実現するための中間アウトカムは妥当か</b>		
評価		
<b>[環境変化の分析] 環境変化への対応状況について（社会状況や区民ニーズに対応できたか）</b>		
評価		
<b>[今後の展開方針] 施策の抱える課題を踏まえ、最終アウトカムの実現に向けて、施策をどう展開していくか</b>		

**【外部評価】行政評価委員会による評価**

評価用語／改善の方向性	

**【二次評価】区の最終評価**

評価用語／改善の方向性	



# 令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 )

<b>事務事業名</b>	220300 - 001 文化事業運営			
<b>担当所属</b>	文化・国際交流課		<b>連絡先</b>	3579-2018
<b>関連所属</b>				

## 【事務事業基本情報】

<b>基本目標</b>	Ⅱいきいきかがやく元気なまち			
<b>基本政策</b>	Ⅱ-2心躍るスポーツ・文化			
<b>施策</b>	220300	個性ある文化芸術の創造と活動の支援		
<b>根拠法令要綱</b>	板橋区民文化祭実施要綱			
<b>計画事業番号</b>		<b>事業期間</b>	~	<b>施設種別</b>

## 【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p><b>【対象】</b> 文化芸術活動の発表の機会及び鑑賞の機会を求めている区民</p> <p><b>【手段】</b> 10月・11月の2か月間にわたり、文化芸術活動の発表と普及の場として、区民文化祭を文化団体連合会及び文化・国際交流財団と共催により実施する。本庁舎では質の高い文化芸術作品を展示する庁舎ギャラリー一等を実施する。</p> <p><b>【意図】</b> 板橋の地域文化を象徴する文化団体連合会と連携し、文化芸術活動の発表の機会及び鑑賞の機会を提供する。</p> <p><b>【成果】</b> 板橋ならではの地域文化を推進するとともに、区民の生活に文化芸術の楽しみを浸透させ、まちに活気やにぎわいを創出する。</p>	<p><b>【現状の周辺環境】</b> 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、「新しい生活様式」に対応した文化芸術活動が広がりを見せている。東京2020大会を契機として、国及び都は文化プログラムを推進している。</p> <p>国では、平成29年「文化芸術基本法」、平成30年「障害者による文化芸術活動の推進に関する法律」が施行された。</p> <p><b>【区民からの意見】</b> 区民文化祭に対する区の支援の充実を求める要望あり</p>

## 【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度			令和 5年度	目標年度
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	
① 成果指標	区民文化祭観覧者数	人	0.0	6,998.0	17,000.0	9,416.0	55.4	15,000.0	令和 7年度
		達成率(%)	0.0	46.7	113.3	62.8		100.0	
② 成果指標	区民文化祭出演・出品者数	人	0.0	5,843.0	8,000.0	6,314.0	78.9	8,000.0	令和 7年度
		達成率(%)	0.0	73.0	100.0	78.9		100.0	
③ 成果指標	過去1年間に文化芸術鑑賞した区民の割合	%	—	—	—	—	—	—	100.0
		達成率(%)	—	—	—	—		—	令和 7年度
④ 成果指標	過去1年間に文化芸術活動した区民の割合	%	—	—	—	—	—	—	40.0
		達成率(%)	—	—	—	—		—	令和 7年度
⑤									

### 特記事項

指標①・②は新型コロナウイルス感染症拡大により令和2年度は中止。令和3年度は一部事業が中止・縮小・無観客開催。  
 指標①の令和4年度実績値は区民まつり参加者を除く値のため、それに伴い計画値を変更。  
 指標③・④は計画策定時(5年ごと)に実施する文化芸術に関する意識調査の結果。

## 【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
<b>フルコスト</b>	千円	25,812	30,534	33,540	33,535	31,184
<b>事業費</b>	千円	4,809	9,665	9,496	9,491	10,434
<b>国庫支出金</b>	千円	0	0	0	0	0
<b>特定財源</b>	千円	0	0	0	0	0
都支出金	千円	0	0	0	0	0
特別区債	千円	0	0	0	0	0
受益者負担	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
<b>一般財源</b>	千円	4,809	9,665	9,496	9,491	10,434
<b>人件費</b>	千円	21,003	20,869	24,044	24,044	20,750
<b>正職員</b>	千円	16,616	16,466	19,764	19,764	16,470
人員	人	2.0	2.0	2.4	2.4	2.0
<b>再任用等</b>	千円	4,387	4,403	4,280	4,280	4,280
人員	人	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
<b>その他職員</b>	千円	0	0	0	0	0
<b>経費</b>	千円	0	0	0	0	0
<b>減価償却費</b>	千円	0	0	0	0	0
<b>その他</b>	千円	0	0	0	0	0
<b>コスト指標</b>	観覧者1人あたり	—	2.38	0.15	2.13	1.36

### フルコストの増減理由

令和2年度決算の事業費減少は、区民文化祭の中止により、代替事業として動画制作事業を実施したため。  
 令和3年度決算の前年比事業費増加は、区民文化祭を実施したため。(一部縮小・中止)  
 令和5年度コスト指標は、まだ値が確定していないため、未記入。(令和5年度末に確定予定)

事務事業名	220300 - 001	文化事業運営
-------	--------------	--------

### 【前回の二次評価結果への対応状況】

前回の二次評価内容	
評価評語／改善の方向性	概ね順調／事業手法の見直し
文化芸術事業においては、コロナ禍であっても持続可能な文化活動を確保するため、動画配信等を含めたDXの視点も踏まえながら取り組んでいく必要がある。同時に文化芸術家が直接活動を行う機会や発表する場の確保も不可欠であることから、ウィズコロナによる感染対策を踏まえた実施方法について検討していく。	
前回の二次評価結果への対応状況	
対応状況	対応済
区民文化祭においては、それぞれ事業の性質に合わせた感染対策を講じながら無事に全事業を実施した。また、それ以外にも一部の文化芸術事業において、動画配信を行うことでコロナ禍でも文化芸術に親しむことができる取組を行った。	

### 【一次評価】所管課長による評価

[活動結果や成果の分析]		達成度	C
1. 活動指標の計画値を満したか	-		
2. 成果指標の計画値を満したか	70%未満がある		
3. 計画どおり進捗しなかった理由を入力してください	前年度に比べ観覧者数は増加したが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、一部事業を縮小して開催したため、観覧者数が思うように伸びなかった。		
[中間アウトカムとの整合性]		寄与度	A
(事務事業は) 中間アウトカムに寄与しているか	大きく寄与している		
区民文化祭をはじめとする文化芸術事業は、区民や文化団体の文化芸術活動の機会の充実を図るとともに、板橋の地域文化に触れる機会を提供することにより、地域文化の活性化を通じて、中間アウトカム「文化芸術の創造・発信」に大きく寄与している。			
[フルコストの把握・分析]		コスト評価	A
1. コストは最適であるか	最適である		
2. コスト最適化への取組状況	区民文化祭は区、文化・国際交流財団、文化団体連合会が共催で実施しており、それぞれの強みに応じた事務負担や実務負担、経費負担により実施している。		
[改善の方向性]			
1. 方向性を選択してください	事業手法の見直し		
2. 具体的な手段を選択してください	コスト維持／活動・成果指標の向上		
3. 中間アウトカムの成果向上に向けた改善策について	板橋の文化の魅力をより多くの人に知ってもらうため、事業の発信方法を検討していく。		

### 【二次評価】所管部長による評価

評価評語／改善の方向性	概ね順調／事業手法の見直し
区民文化祭においては、従来のように実施できるようになったことを踏まえ、コロナ禍前の観覧者数に戻すべく、事業の周知方法を再検討し、より多くの区民が文化芸術に親しめる機会を提供できるようPRしていく必要がある。	

# 令和 5年度 事務事業評価表 (令和 4年度 事務事業) モニタリング

<b>事務事業名</b>	220300 - 002 (公財) 板橋区文化・国際交流財団運営助成 (文化・法人会計)		
<b>担当所属</b>	文化・国際交流課		<b>連絡先</b> 3579-2018
<b>関連所属</b>			

## 【事務事業基本情報】

<b>基本目標</b>	Ⅱいきいきかがやく元気なまち		
<b>基本政策</b>	Ⅱ-2心躍るスポーツ・文化		
<b>施策</b>	220300	個性ある文化芸術の創造と活動の支援	
<b>根拠法令要綱</b>	公益財団法人板橋区文化・国際交流財団補助金交付要綱		
<b>計画事業番号</b>		<b>事業期間</b> 平成24年度 ~	<b>施設種別</b>

## 【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p><b>【対象】</b> 板橋区民を対象に文化事業及び国際交流事業を企画・実施する(公財)板橋区文化・国際交流財団</p> <p><b>【手段】</b> 運営費の一部を助成する。</p> <p><b>【意図】</b> いたばし文化芸術・多文化共生ビジョン2025において、独自の文化芸術施策を推進するとともに、クリエイターやアーティストなどとのつながりをつくることで文化芸術の裾野を広げる役割を担う文化・国際交流財団による文化芸術事業の実施及び健全運営を支援する。</p> <p><b>【成果】</b> 板橋区における地域文化の創造支援と国際相互理解の促進が図られ、文化の香り高いまちづくりに資する。</p>	<p><b>【現状の周辺環境】</b> 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、「新しい生活様式」に対応した文化芸術活動が広がりをみせている。東京2020大会を契機として、国は文化プログラムを推進している。</p> <p>文化会館等の管理運営について、地域文化の牽引役である財団が文化会館等の指定管理者になるための組織改革を支援し、文化事業と施設管理運営が一体的に実施することで、地域文化のさらなる発展と創造支援の充実をめざす。</p>

## 【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)		計画
① 成果指標	区民参加型事業参加者数	人	870.0	1,498.0	2,000.0	799.0	40.0	1,760.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
② 成果指標	アウトリーチ事業来場者数	人	1,476.0	2,683.0	—	4,087.0	—	—	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
③ 成果指標	財団 YouTube チャンネル動画再生回数	回	26,849.0	56,174.0	—	51,932.0	—	—	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
④									
⑤									

### 特記事項

指標①・②は新型コロナウイルス感染症拡大により、令和2年度は中止・事業縮小・オンライン開催などのため減少。令和3年度は、新型コロナウイルス制限緩和のため増加。  
 指標①は令和4年度、文化会館大ホールの天井工事に伴い、一部事業を実施しなかったため減少。  
 指標②・③は目標・計画を算出することが不可能なため未記入。

## 【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
<b>フルコスト</b>	千円	110,402	134,041	112,369	157,204	69,210
<b>事業費</b>	千円	62,216	78,057	80,252	125,087	47,799
<b>特定財源</b>						
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
都支出金	千円	0	0	0	0	0
特別区債	千円	0	0	0	0	0
受益者負担	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	62,216	78,057	80,252	125,087	47,799
<b>人件費</b>	千円	48,186	55,984	32,117	32,117	21,411
<b>正職員</b>	千円	48,186	55,984	32,117	32,117	21,411
人員	人	5.8	6.8	3.9	3.9	2.6
<b>再任用等</b>	千円	0	0	0	0	0
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
<b>その他職員</b>	千円	0	0	0	0	0
<b>経費</b>	千円	0	0	0	0	0
減価償却費	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
<b>コスト指標</b>	千円	47.06	32.06	—	38.46	39.32

### フルコストの増減理由

# 令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 )

<b>事務事業名</b>	220300 - 003 文化会館・グリーンホール運営経費
<b>担当所属</b>	文化・国際交流課
<b>連絡先</b>	3579-2018
<b>関連所属</b>	

## 【事務事業基本情報】

<b>基本目標</b>	Ⅱいきいきかがやく元気なまち		
<b>基本政策</b>	Ⅱ-2心躍るスポーツ・文化		
<b>施策</b>	220300	個性ある文化芸術の創造と活動の支援	
<b>根拠法令要綱</b>	東京都板橋区立文化会館条例・施行規則 東京都板橋区立グリーンホール条例・施行規則		
<b>計画事業番号</b>		<b>事業期間</b>	昭和57年度 ~
		<b>施設種別</b>	区民関連施設

## 【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p><b>【対象】</b> 文化・芸術活動及び鑑賞の場を求めている区民</p> <p><b>【手段】</b> 安心して利用しやすい快適な施設環境を整え、ホスピタリティサービスの向上に努めるとともに、文化芸術にふれる場を提供する。</p> <p><b>【意図】</b> 区民の文化芸術活動が盛んになるとともに、優れた文化芸術を身近に感じることができる。</p> <p><b>【成果】</b> 文化芸術活動の拠点として、区内外からの利用が増え、文化のかがやくまち板橋の実現に資する。</p>	<p><b>【現状の周辺環境】</b> 都内をはじめとする首都圏では、施設の老朽化によるホール・劇場等の閉鎖や改修が相次いでおり、大型施設の改修も重なり、施設不足が深刻化している。これらの状況が影響し、文化芸術活動の拠点として区民ニーズが上昇している。また、新型コロナウイルス感染症対応に伴う緊急事態宣言等の発令により、休館・利用制限といった影響を受けている。今後は、アフターコロナにおいても、感染症拡大防止策を講じながら、区民の文化芸術やアートの鑑賞機会、アーティストの活動の場、そして区民とアーティスト双方の出会いを提供し続けていくことが求められている。</p> <p><b>【アンケート・統計調査】</b> 指定管理者が実施した「令和2年度利用者アンケート」によると、文化会館では9割を超える利用者が施設・サービスに『満足』と回答している。また、施設の感染症対策に関する設問では、『適切』と回答した方が文化会館・グリーンホールともに8割を超え、コロナ禍においても指定管理者による管理運営及び主催事業では比較的高い満足度が得られている。</p>

## 【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 成果指標	文化会館大ホール利用率 (単年度)	%	45.6	69.1	71.0	88.3	124.4	71.0	75.0
			達成率(%)	60.8	92.1	94.7	117.7		94.7
② 成果指標	文化会館小ホール利用率 (単年度)	%	46.5	65.3	69.0	85.1	123.3	69.0	69.0
			達成率(%)	67.4	94.6	100.0	123.3		100.0
③ 成果指標	グリーンホール1階ホール 利用率(単年度)	%	66.3	72.8	86.5	89.1	103.0	86.5	86.5
			達成率(%)	76.6	84.2	100.0	103.0		100.0
④ 成果指標	グリーンホール2階ホール 利用率(単年度)	%	53.6	64.6	77.5	82.0	105.8	77.5	77.5
			達成率(%)	69.2	83.4	100.0	105.8		100.0
⑤ 成果指標	文化会館・グリーンホール 施設利用者満足度	%	—	—	100.0	94.1	94.1	100.0	100.0
			達成率(%)	—	—	100.0	94.1		100.0

**特記事項**  
指標①～⑤は、新型コロナウイルス感染症の影響はありつつも、手指消毒液等の感染症対策物品の配置や、適切な館内消毒等の実施によるイメージ向上の結果、上昇傾向にある。

## 【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	
フルコスト	千円	648,289	520,491	794,432	816,951	624,074	
事業費	千円	514,797	381,858	657,115	679,634	489,228	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	430	566	564	565	555
	その他	千円	6,296	8,949	8,208	9,383	8,271
一般財源	千円	508,071	372,343	648,343	669,686	480,402	
人件費	千円	14,124	13,996	12,353	12,353	9,882	
正職員	千円	14,124	13,996	12,353	12,353	9,882	
	人員	人	1.7	1.7	1.5	1.5	1.2
再任用等	千円	0	0	0	0	0	
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	119,368	124,637	124,964	124,964	124,964	
減価償却費	千円	119,368	124,637	124,964	124,964	124,964	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	利用1件あたり	千円	64.43	40.99	62.56	67.81	—

### フルコストの増減理由

年度によって施設改修経費が異なり増減するものの、ランニング経費は指定管理者のノウハウと努力により抑えられ、区直営時と比較して経費効果が継続して出ている。(コスト指標の分母：全諸室利用件数合計。R2…10,062件、R3…12,698件、R4…12,048件)  
R5のコスト指標は、まだ確定していないため未記入。(R5の年度末に確定予定)

事務事業名	220300 - 003 文化会館・グリーンホール運営経費
-------	-------------------------------

**【前回の二次評価結果への対応状況】**

前回の二次評価内容	
評価評語／改善の方向性	概ね順調／事業手法の見直し
新型コロナウイルス感染症の拡大による緊急事態宣言等の発出で、施設利用率等が落ち込んでいたが、感染症拡大防止策の徹底等の取組により、利用率は改善している。引き続きこれらの取組を継続するとともに、感染拡大状況に合わせた柔軟な施設運営を心掛けることで、指標の改善を目指していく。	
前回の二次評価結果への対応状況	
対応状況	対応済
新型コロナウイルス感染症拡大が継続する状況において感染症拡大防止策を徹底し、安心・安全に利用していただける環境を整えた。また、新型コロナウイルス感染症でやむを負えない場合は利用日変更を可能とするなど、利用者に配慮した取組により令和3年度と比較し利用率が向上している。	

**【一次評価】所管課長による評価**

[活動結果や成果の分析]		達成度	A
1. 活動指標の計画値を満したか	-		
2. 成果指標の計画値を満したか	全てが90%以上		
3. 計画どおり進捗しなかった理由を入力してください			
[中間アウトカムとの整合性]		寄与度	A
(事務事業は) 中間アウトカムに寄与しているか	大きく寄与している		
新型コロナウイルス感染症拡大の影響はありつつも、コロナ禍での事業・施設運営のあり方を追求し、感染症拡大防止策を徹底したうえで各種事業等を実施することで、中間アウトカム「文化芸術活動拠点の充実」に寄与している。			
[フルコストの把握・分析]		コスト評価	B
1. コストは最適であるか	最適化に取り組んでいる		
2. コスト最適化への取組状況	文化会館及びグリーンホールでは平成23年度より指定管理者制度を導入した。管理運営及び文化事業の提供については、民間事業者のノウハウを最大限に活かし、効率的かつ実効性の高い事業展開が行われている。指定管理者制度の導入により、利用者サービスの向上（開館時間の延長等）や利用率・満足度が高まっている。		
[改善の方向性]			
1. 方向性を選択してください	事業手法の見直し		
2. 具体的な手段を選択してください	コスト維持／活動・成果指標の向上		
3. 中間アウトカムの成果向上に向けた改善策について	引き続き感染症拡大防止策を徹底し、安心・安全な施設運営を継続する。また、これらの取組を積極的に発信することで、新たな顧客層の獲得に挑戦していく。これと並行し、ハード面の改善も積極的に実施し、ソフト面との両輪で事業運営を行い、利用しなくなる施設を目指す。		

**【二次評価】所管部長による評価**

評価評語／改善の方向性	概ね順調／事業手法の見直し
令和5年5月8日に新型コロナウイルスの感染症法の位置付けが5類に引き下がったことにより、区民の文化活動等への参加意欲が高まり、施設利用率の更なる向上が見込まれる。今後も感染症拡大防止策の徹底等の取組は行いつつ、コロナ禍以前の生活に戻るよう、柔軟な施設運営を実施していく。	

# 令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 ) モニタリング

事務事業名	220300 - 004 美術館管理運営経費		
担当所属	文化・国際交流課		連絡先 3979-3251
関連所属			

## 【事務事業基本情報】

基本目標	IIいきいきかがやく元気なまち		
基本政策	II-2心躍るスポーツ・文化		
施策	220300	個性ある文化芸術の創造と活動の支援	
根拠法令要綱	板橋区立美術館条例、板橋区立美術館管理規則、板橋区文化芸術振興基本計画2020、文化芸術振興基本法、東京都文化振興条例		
計画事業番号		事業期間	昭和54年度 ~
			施設種別 教育関連施設

## 【事業概要・環境変化】

<b>事業概要</b> <b>【対象】</b> 区民及び区外から美術鑑賞を求めて来館される方々 <b>【手段】</b> 絵本、江戸狩野派、池袋モンパルナスの3つを柱に、板橋オンリーのユニークな展覧会を開催し、個性ある芸術を創造・発信する。また、アトリエ教室・講座等の実施による教育普及事業、板橋ゆかりの作家と近現代美術、及び近世美術（江戸期の江戸地方）の古美術にかかる資料収集・調査研究を行う。運営方法は、平成26年12月に決定した「板橋区立美術館のあり方について」の中で、直営方式が最適であると結論付けている。 <b>【意図】</b> 地域に親しまれる魅力ある美術館として、区の文化芸術を振興する。 <b>【成果】</b> 来館者の増加を図り、板橋区立美術館ならではの芸術にふれる機会を創出する。	<b>環境変化・備考</b> <b>【現状の周辺環境】</b> 板橋ゆかりの作家と近現代美術、近世美術（江戸期の江戸地方）の古美術を資料収集。特に江戸狩野派の体系的な収集は全国に知られている。展覧会は、古美術、近現代美術及び絵本関連作品を3本柱として開催。各分野で注目を集め高い評価を得ている。 <b>【今後の予想される周辺環境】</b> 大規模改修工事によりリニューアルしたため、情報発信の充実や、オリンピックに因んだ国際交流の機運の高まりをとらえた企画により、従来よりも多くの観覧者、利用者呼び込み、地域に親しまれ、また、国内外に板橋の文化発信力を顕示できる場としての運用が求められる。 <b>【他自治体との比較】</b> 区の直営は板橋区のみ（令和4年度）。練馬、世田谷、渋谷、目黒、墨田の各区は関連財団が指定管理者または事業委託先。
---	--

## 【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度	目標値		
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度	
① 活動指標	展覧会回数	回	6.0	9.0	8.0	9.0	112.5	8.0	令和 7年度	
		達成率(%)	75.0	112.5	100.0	112.5		100.0		
② 成果指標	展覧会入館者数	人	30,159.0	31,898.0	55,000.0	34,932.0	63.5	55,000.0	55,000.0	令和 7年度
		達成率(%)	54.8	58.0	100.0	63.5		100.0		
③ 成果指標	図録等販売実績	千円	7,234.0	6,279.0	7,290.0	6,377.0	87.5	5,708.0	6,540.0	令和 7年度
		達成率(%)	110.6	96.0	111.5	97.5		87.3		
④ 成果指標	美術教室参加延べ人数	人	8.0	726.0	1,500.0	1,424.0	94.9	1,500.0	1,500.0	令和 7年度
		達成率(%)	0.5	48.4	100.0	94.9		100.0		
⑤		達成率(%)								

### 特記事項

新型コロナウイルス感染拡大防止により一部の展覧会の会期を変更した。同様に講演会やイベントは、美術教室についても一部を延期または中止とした。小学校鑑賞教室については、美術館のほかオンラインでの鑑賞教室を開催した。令和4年度からひよこ・たぬきアトリエからこどもアトリエへ名称変更するとともに参加組数から実参加者数にカウント変更した。R4は参加組数109組318人の参加実績。

## 【投入コスト・人員】


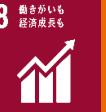





年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	
フルコスト	千円	221,524	198,650	216,643	217,006	218,020	
事業費	千円	112,026	89,752	107,729	108,092	109,106	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	22,355	15,832	24,282	14,290	13,618
	その他	千円	43	41	3,037	1,043	4,528
	一般財源	千円	89,628	73,879	80,410	92,759	90,960
人件費	千円	66,464	65,864	65,880	65,880	65,880	
正職員	千円	66,464	65,864	65,880	65,880	65,880	
	人員	人	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0
	再任用等	千円	0	0	0	0	0
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	43,034	43,034	43,034	43,034	43,034	
減価償却費	千円	43,034	43,034	43,034	43,034	43,034	
	その他	千円	0	0	0	0	0
コスト指標	来館者1人あたり	千円	2.95	3.61	3.94	3.95	3.96

### フルコストの増減理由

令和4年度は、特別展示として国の重要文化財を含めた作品を展示した「椿椿山展」の開催により、通常の展覧会と比較して展覧会経費が増加した。



# 令和 5年度 施策評価表 モニタリング

<b>施策名</b>	220400	国際性豊かな地域社会づくり					
<b>SDGs (関連性のあるGOAL)</b>	      						
<b>基本目標</b>	Ⅱいきいきかがやく元気なまち						
<b>基本政策</b>	Ⅱ-2心躍るスポーツ・文化						
<b>所管部長</b>	区民文化部長			<b>所管課長</b>	文化・国際交流課長		
<b>関連所管</b>	総務課						

## 【施策基本情報】

<b>施策概要（「基本計画2025」）</b>	<b>施策のアウトカムイメージ</b>
<p>【概要】</p> <p>姉妹・友好都市との交流や多言語・多文化対応など、外国人の生活・コミュニケーション支援の充実を図り、国際性豊かで多文化が共生するまちづくりを推進する。</p> <p>【関係課または区以外の主体が施策実現に果たす役割】</p> <p>多文化について相互に理解しあい、尊重する。 多文化・多言語を理解するため、情報を発信し、環境を整える。</p> <p>【主な取り組み】</p> <p>国際交流事業、姉妹・友好都市提携周年記念事業など</p>	<p>地域で暮らす外国人に必要な情報を分かりやすく伝えたり、日本語を学習できる環境が整備されている。</p>

## 【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	目標値
			実績	実績	実績	計画	目標年度
施策指標	① 過去1年間で外国人とコミュニケーションがあった区民の割合	%	—	43.9	—	45.0	45.0
		達成率(%)	—	97.6	—	100.0	令和 7年度
	② 多文化共生推進イベント参加者数	人	208.0	269.0	365.0	660.0	660.0
		達成率(%)	31.5	40.8	55.3	100.0	令和 7年度
	③ 外国人の日本語学習事業の参加者数	人	119.0	179.0	268.0	300.0	300.0
		達成率(%)	39.7	59.7	89.3	100.0	令和 7年度
	④ 多言語化・コミュニケーション支援事業の実施件数	件	545.0	583.0	968.0	600.0	600.0
		達成率(%)	90.8	97.2	161.3	100.0	令和 7年度
	⑤						
		達成率(%)					

### 特記事項

①は隔年実施の区民意識意向調査結果。②は文化・国際交流財団による多文化紹介シリーズ、国際交流サロン、日本語スピーチ大会の3事業の参加者数であり、目標値は目標年度までの平均値である660人とする。令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止により一部中止もしくは一部オンライン開催となった。③は文化・国際交流財団日本語教室と外国人児童・生徒のための日本語初期学習集中講座の受講者数合計。④は通訳と翻訳の事業実施件数

## 【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
フルコスト	千円	60,384	60,246	83,816	76,149	66,369
事業費	千円	28,813	28,961	44,287	39,914	35,899
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	都支出金	千円	0	0	0	0
	特別区債	千円	0	0	0	0
	受益者負担	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
一般財源	千円	28,813	28,961	44,287	39,914	35,899
人件費合計	千円	31,571	31,285	39,529	36,235	30,470
経費	千円	0	0	0	0	0

### フルコストの増減理由

令和2年度に5年毎の計画策定により、令和元年度はそれに先駆けてアンケート調査を行ったためその委託料が増となっている。令和元年度にはバーリントン市姉妹都市提携30周年記念事業、令和2年度にはボローニャ市友好都市交流協定締結15周年記念事業があったため、そこに係る経費が増となった。

施策名	220400	国際性豊かな地域社会づくり
-----	--------	---------------

**【前回の評価結果への対応状況】**

<b>前回の評価内容</b>		
評価用語／改善の方向性		
<b>前回の評価結果への対応状況</b>		
対応状況		

**【一次評価】所管部長による評価**

<b>[成果の分析] 1. 施策目標に対する成果（実績値）の推移</b>		
評価		
<b>[成果の分析] 2. 目標と成果にギャップがある場合の要因</b>		
<b>[アウトカムの分析] 最終アウトカム（施策目標）を実現するための中間アウトカムは妥当か</b>		
評価		
<b>[環境変化の分析] 環境変化への対応状況について（社会状況や区民ニーズに対応できたか）</b>		
評価		
<b>[今後の展開方針] 施策の抱える課題を踏まえ、最終アウトカムの実現に向けて、施策をどう展開していくか</b>		

**【外部評価】行政評価委員会による評価**

評価用語／改善の方向性	

**【二次評価】区の最終評価**

評価用語／改善の方向性	



令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 ) モニタリング

事務事業名	220400 - 001 外国人学校在校生保護者助成経費			
担当所属	総務課		連絡先	3579-2052
関連所属				

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち			
基本政策	Ⅱ-2心躍るスポーツ・文化			
施策	220400	国際性豊かな地域社会づくり		
根拠法令要綱	板橋区外国人学校児童・生徒保護者負担軽減補助金交付要綱			
計画事業番号		事業期間	昭和57年度 ~	施設種別

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 区内在住の外国人学校在学の児童・生徒（義務教育相当年齢）の保護者 保護者とは、板橋区に住居登録をした日本国籍以外のもので、かつ授業料納付の義務を負っている者</p> <p>【手段】 児童・生徒一人当たり支給額8,500円を補助金として交付</p> <p>【意図】 保護者の経済的な負担の軽減</p> <p>【成果】 支給人数</p>	<p>【開始時の周辺環境】 昭和56年に「区民であり納税義務を負っているにも関わらず、在日朝鮮人に対して反対給付がなく区民平等の原則に反する」との趣旨の「特別援助金交付についての請願」が採択されたことに鑑み、この制度を創設した。</p> <p>【今後の予想される周辺環境】 平成26年から区内在住外国人数は増加傾向にある。</p> <p>【他自治体との比較】 23区中全ての区が同様の事業を実施している。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)		計画
① 活動指標	支給人数	人	156.0	180.0	160.0	180.0	112.5	180.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—		—	
②		達成率(%)							
		達成率(%)							
③		達成率(%)							
		達成率(%)							
④		達成率(%)							
		達成率(%)							
⑤		達成率(%)							
		達成率(%)							
特記事項									

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
フルコスト	千円	16,488	17,269	17,144	18,317	19,184
事業費	千円	15,657	16,446	16,320	17,493	18,360
特定財源						
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
都支出金	千円	0	0	0	0	0
特別区債	千円	0	0	0	0	0
受益者負担	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	15,657	16,446	16,320	17,493	18,360
人件費	千円	831	823	824	824	824
正職員	千円	831	823	824	824	824
人員	人	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
再任用等	千円	0	0	0	0	0
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0
減価償却費	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
コスト指標	一人あたり 千円	109.92	95.94	107.15	101.76	106.58

フルコストの増減理由

支給人数の増

# 令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 ) モニタリング

事務事業名	220400 - 002 国際交流事業運営		
担当所属	文化・国際交流課		連絡先 3579-2018
関連所属			

## 【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち		
基本政策	Ⅱ-2心躍るスポーツ・文化		
施策	220400	国際性豊かな地域社会づくり	
根拠法令要綱			
計画事業番号	事業期間	~	施設種別

## 【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 外国人区民</p> <p>【手段】 翻訳や通訳等の事業委託を行う。外国人向けの生活情報をまとめ、転入時に情報提供する。</p> <p>【意図】 日本語がわからない区民に情報・行政サービスを提供する。</p> <p>【成果】 外国人区民にも、日本人同様の情報や行政サービスを提供することに加え、外国人にとって有益な情報を確実に伝えることができる。</p>	<p>【現状の周辺環境】 区内の外国人住民数は平成26年から増加傾向にあった。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で入国者数が大幅に減少したことなどから、令和3年は減少に転じたが、令和4年は増加した。中国人、韓国人が大多数を占めているが、近年、ベトナム人、ネパール人が増えている。</p> <p>【区民からの意見】 区民からは、近隣に引っ越してくる外国人がどのように生活ルールを知るのかわからないと不安であるといった声や、転居してくるときにゴミの出し方など生活ルールを伝えてほしいといった意見がある。</p>

## 【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度			令和 5年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率 (%)	計画	目標年度
① 活動指標	通訳・翻訳件数	件	545.0	583.0	200.0	968.0	484.0	200.0	200.0
		達成率 (%)	272.5	291.5	100.0	484.0		100.0	令和 7年度
② 活動指標	外国人向け生活情報の発信チラシ作成数	部	0.0	0.0	10,000.0	10,000.0	100.0	10,000.0	10,000.0
		達成率 (%)	0.0	0.0	100.0	100.0		100.0	令和 7年度
③									
④									
⑤									

### 特記事項

- ①については、令和2年度より電話通訳の導入・少数言語への対応により大幅に増加した。  
②については、令和4年度からこれまでの多言語情報を統合して新たに作成。

## 【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
フルコスト	千円	6,518	5,586	7,260	7,202	12,488
事業費	千円	3,195	2,293	2,319	2,261	5,900
特定財源						
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
都支出金	千円	0	0	0	0	0
特別区債	千円	0	0	0	0	0
受益者負担	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	3,195	2,293	2,319	2,261	5,900
人件費	千円	3,323	3,293	4,941	4,941	6,588
正職員	千円	3,323	3,293	4,941	4,941	6,588
人員	人	0.4	0.4	0.6	0.6	0.8
再任用等	千円	0	0	0	0	0
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0
減価償却費	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
コスト指標	千円	—	—	—	—	—

### フルコストの増減理由

事業費は通訳・翻訳委託、多言語リーフレットの作成、「Welcome to いたばし」の作成経費であり、概ね横ばいで推移している。令和4年度からは多言語リーフレットの作成、「Welcome to いたばし」を統合し、「外国人向け生活情報の発信」とするため事業費が減となる。令和5年度は通訳・翻訳事業にウクライナ語・ロシア語を追加したこと、サマカン経費により事業費が増となる。平成30年度決算までは人件費に文化・国際交流財団国際交流係への派遣職員3人分を含んでいたが、令和元年度決算からは区職員のみとなっている。

# 令和 5年度 事務事業評価表 (令和 4年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	220400 - 003 北京市石景山区友好都市提携25周年記念事業			
担当所属	文化・国際交流課		連絡先	3579-2018
関連所属				

## 【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち			
基本政策	Ⅱ-2心躍るスポーツ・文化			
施策	220400	国際性豊かな地域社会づくり		
根拠法令要綱				
計画事業番号		事業期間	令和 4年度 ~ 令和 4年度	施設種別

## 【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 北京市石景山区長及び板橋区長をはじめとする両自治体の区民</p> <p>【手段】 北京市石景山友好交流都市提携25周年を機に、記念イベントをオンラインにて実施する。</p> <p>【意図】 北京市石景山区友好交流都市提携25周年を機に、相互交流をさらに促進し、国際平和に貢献する。</p> <p>【成果】 中国文化にふれ、交流する機会を創出し、国際理解を深める。</p>	<p>【現状の周辺環境】 令和4年で板橋区は中国北京市石景山区と「友好都市・協力関係に関する合意書」を調印して25周年を迎える。 5年毎の周年の年に石景山区・板橋区からそれぞれ公式訪問団の受け入れ・派遣を行うが（板橋区からの公式訪問団派遣は10年毎に行っている。）、今年は新型コロナウイルス感染症拡大により、オンラインにて交流を行った。</p>

## 【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度			令和 5年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	
① 成果指標	オンライン交流の実施	回	0.0	0.0	1.0	1.0	100.0	—	—
		達成率(%)	—	—	—	—		—	
②		達成率(%)							
③		達成率(%)							
④		達成率(%)							
⑤		達成率(%)							
特記事項									

## 【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
フルコスト	千円	0	0	10,860	90	0
事業費	千円	0	0	7,566	90	0
特定財源						
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
都支出金	千円	0	0	0	0	0
特別区債	千円	0	0	0	0	0
受益者負担	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	0	0	7,566	90	0
人件費	千円	0	0	3,294	0	0
正職員	千円	0	0	3,294	0	0
人員	人	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0
再任用等	千円	0	0	0	0	0
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0
減価償却費	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
コスト指標	千円	—	—	—	—	—

### フルコストの増減理由

今年度のみ、石景山区公式訪問団の受入が新型コロナウイルス感染症拡大により行われなかったため、事業費は大幅減。

# 令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 )

<b>事務事業名</b>	220400 - 004 (公財) 板橋区文化・国際交流財団運営助成 (国際交流)		
<b>担当所属</b>	文化・国際交流課		<b>連絡先</b> 3579-2018
<b>関連所属</b>			

## 【事務事業基本情報】

<b>基本目標</b>	Ⅱいきいきかがやく元気なまち		
<b>基本政策</b>	Ⅱ-2心躍るスポーツ・文化		
<b>施策</b>	220400	国際性豊かな地域社会づくり	
<b>根拠法令要綱</b>	公益財団法人板橋区文化・国際交流財団補助金交付要綱		
<b>計画事業番号</b>		<b>事業期間</b>	平成24年度 ~
			<b>施設種別</b>

## 【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p><b>【対象】</b> 板橋区民を対象に文化事業及び国際交流事業を企画・実施する（公財）板橋区文化・国際交流財団</p> <p><b>【手段】</b> 運営費の一部を助成する。</p> <p><b>【意図】</b> いたばし文化芸術・多文化ビジョンにおいて、区民レベルでの国際交流や多文化共生の推進を期待されている文化・国際交流財団による国際交流事業の着実な実施及び健全運営を支援する。</p> <p><b>【成果】</b> 板橋区における地域文化の創造支援と国際相互理解の促進が図られ、文化の香り高いまちづくりに資するものである。</p>	<p><b>【現状の周辺環境】</b> 区内の外国人住民数は平成26年から増加傾向にあった。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で入国者数が大幅に減少したことなどから、令和3年は減少に転じたが、令和4年は増加した。中国人、韓国人が大多数を占めているが、近年、ベトナム人、ネパール人が増えている。</p> <p><b>【他自治体との比較】</b> 板橋区の財団は、経常収益に占める区からの補助金等の割合が6割～7割程度であり、足立区を除く15財団中5番目に低い水準となっている。また、収益率は約37%と平均（約29%）よりも高くなっている。</p>

## 【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率 (%)	
① 活動指標	国際理解教育（小中学校への外国人派遣事業）派遣数	件	4.0	9.0	20.0	18.0	90.0	20.0
		達成率 (%)	20.0	45.0	100.0	90.0		100.0
② 成果指標	日本語教室参加者数	人	98.0	161.0	120.0	227.0	189.2	120.0
		達成率 (%)	81.7	134.2	100.0	189.2		100.0
③ 成果指標	日本語スピーチ大会来場者数	人	179.0	183.0	250.0	211.0	84.4	250.0
		達成率 (%)	71.6	73.2	100.0	84.4		100.0
④ 成果指標	過去1年間で外国人とコミュニケーションのあった区民の割合	%	—	43.9	—	—	—	45.0
		達成率 (%)	—	97.6	—	—		100.0

### 特記事項

指標①は新型コロナウイルス感染症拡大により、実施予定回数を減らしたため、回数減となった。  
 指標②は新型コロナウイルス感染症拡大により、教室の定員を減らし実施した。  
 指標③は新型コロナウイルス感染症拡大により、令和2年度は事前録画をオンライン配信し、令和3年度は有観客で開催しオンラインでもライブ配信した。令和4年度は有観客で開催した。  
 指標④は隔年実施の区民意識意向調査結果。  
 指標②及び③については、令和2年度はオンラインによる参加者数とする。  
 指標③については、令和3年度は来場者とオンライン視聴者数の合計とする。

## 【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	
<b>フルコスト</b>	千円	26,708	27,322	37,128	37,010	17,994	
<b>事業費</b>	千円	8,430	9,209	16,540	16,422	4,818	
<b>特定財源</b>	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	
<b>一般財源</b>	千円	8,430	9,209	16,540	16,422	4,818	
<b>人件費</b>	千円	18,278	18,113	20,588	20,588	13,176	
<b>正職員</b>	千円	18,278	18,113	20,588	20,588	13,176	
	人員	人	2.2	2.2	2.5	2.5	1.6
	再任用等	千円	0	0	0	0	0
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
<b>その他職員</b>	千円	0	0	0	0	0	
<b>経費</b>	千円	0	0	0	0	0	
<b>減価償却費</b>	千円	0	0	0	0	0	
	千円	0	0	0	0	0	
<b>コスト指標</b>	千円	—	—	—	—	—	

### フルコストの増減理由

令和元年度予算までは文化事業・法人会計及び国際交流事業をあわせて算定していたが、令和元年度決算から評価表を分けることとした。

**【前回の二次評価結果への対応状況】**

前回の二次評価内容	
評価評語／改善の方向性	概ね順調／事業手法の見直し
事業実績は新型コロナウイルスの影響から低くとどまっていたが、オンラインの併用などにより可能な限り事業を実施したため、且つ度指標が改善してきた。オンラインのさらなる活用など事業実施の方法を検討し、多文化理解の促進や日本語学習機会の提供を図る。	
前回の二次評価結果への対応状況	
対応状況	対応済
感染防止対策を徹底するとともに事業実施を行うことが出来た。	

**【一次評価】所管課長による評価**

[活動結果や成果の分析]		達成度	A
1. 活動指標の計画値を満したか	全てが90%以上		
2. 成果指標の計画値を満したか	-		
3. 計画どおり進捗しなかった理由を入力してください	有観客で現地開催を行うことが出来たが、新型コロナウイルス感染症防止のため、思うように数値が伸びなかったことにより、計画値を達成できなかった。		
[中間アウトカムとの整合性]		寄与度	A
(事務事業は) 中間アウトカムに寄与しているか	大きく寄与している		
コロナ禍においても感染防止対策を行ったことで、多文化共生推進イベント参加者数、外国人の日本語学習事業の参加者数の増加に大きく寄与している。			
[フルコストの把握・分析]		コスト評価	A
1. コストは最適であるか	最適である		
2. コスト最適化への取組状況	財団事業について毎年実績確認して金額確定しており、その事業内容及び区民への貢献度を考えると、その運営を維持するためには現状の助成金額は最適であると言える。これまで財団の経営計画2021の着実な実施によりコスト最適化は進行してきた。今後も、経営計画2025の着実な推進を要請していく。		
[改善の方向性]			
1. 方向性を選択してください	事業手法の見直し		
2. 具体的な手段を選択してください	コスト維持／活動・成果指標の向上		
3. 中間アウトカムの成果向上に向けた改善策について	令和5年度から新型コロナウイルスの制限がなくなるので、引き続き新型コロナウイルス感染症防止対策に留意しながら、日本語教室の定員増や国際理解教育の回数増に努める。		

**【二次評価】所管部長による評価**

評価評語／改善の方向性	概ね順調／事業手法の見直し
事業実績は新型コロナウイルスの影響から低くとどまっていたが、オンラインの併用により可能な限り事業を実施した。令和5年5月8日から新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが5類に移行されたため、さらなる参加者数の増加が見込まれる。引き続き新型コロナウイルスの拡大防止に留意しながら、多文化理解の促進や日本語学習機会の提供を図る。	



# 令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 ) モニタリング

事務事業名	220400 - 005 事務費			
担当所属	文化・国際交流課		連絡先	3579-2018
関連所属				

## 【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち			
基本政策	Ⅱ-2心躍るスポーツ・文化			
施策	220400	国際性豊かな地域社会づくり		
根拠法令要綱				
計画事業番号		事業期間	~	施設種別

## 【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<b>【対象】</b> 区内在住もしくは区と交流のある外国人 <b>【手段】</b> 公式訪問における通訳・翻訳の手配、食事の手配等をする。冊子の印刷を行う。国際交流連絡会を開催する。 <b>【意図】</b> 各種国際交流事業を有意義かつ実効性あるものに展開する。 <b>【成果】</b> 外国人に板橋区の魅力を伝え、さらに国際交流を推進する。	<b>【現状の周辺環境】</b> 板橋区に表敬訪問に来る外国人や花火大会に招待する外国人は母国に帰任する場合があるなど参加者数は、年度によって波がある。 <b>【区民からの意見】</b> 区ホームページに、板橋区紹介冊子「In and Around」が掲載されており、留学時に自分の住んでいる板橋区を紹介することができて嬉しかった。 留学生対象の防災訓練は、様々な大学に声がけをし、拡充を進めてほしい。

## 【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)		計画
① 活動指標	通訳・翻訳の手配件数	件	1.0	1.0	1.0	1.0	100.0	1.0	
		達成率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0		100.0	令和 7年度
② 活動指標	国際交流連絡会開催回数	回	1.0	1.0	1.0	1.0	100.0	1.0	
		達成率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0		100.0	令和 7年度
③ 成果指標	花火大会招待枠参加外国人	人	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	40.0	
		達成率(%)	0.0	0.0	125.0	0.0		100.0	令和 7年度
④ 成果指標	留学生対象の防災訓練参加者数	人	0.0	0.0	50.0	5.0	10.0	50.0	
		達成率(%)	0.0	0.0	100.0	10.0		100.0	令和 7年度
⑤									
特記事項		③については、新型コロナウイルス感染症拡大により中止した。 ④については、令和元年度以来、3年ぶりに参加者を減少して行われた。							

## 【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
フルコスト	千円	10,670	10,069	11,424	13,530	16,703
事業費	千円	1,531	1,013	1,542	3,648	6,821
特定財源						
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
都支出金	千円	0	0	0	0	0
特別区債	千円	0	0	0	0	0
受益者負担	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	1,531	1,013	1,542	3,648	6,821
人件費	千円	9,139	9,056	9,882	9,882	9,882
正職員	千円	9,139	9,056	9,882	9,882	9,882
人員	人	1.1	1.1	1.2	1.2	1.2
再任用等	千円	0	0	0	0	0
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0
減価償却費	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
コスト指標	千円	—	—	—	—	—

### フルコストの増減理由

表敬訪問される来賓客の人数等は流動的であり、年度によって通訳料や食糧費が変動する。。令和2年度決算は、新型コロナウイルス感染症拡大により表敬訪問がなかったため、通訳・翻訳の手配がなかったことによる減少。また、東京2020大会の延期により海外姉妹友好都市等の受入がなくなったため減少。令和4年度はウクライナ避難民への一時金や消耗品の支給により増加。

# 令和 5年度 施策評価表 モニタリング

施策名	220500	平和都市の推進						
SDGs (関連性のあるGOAL)	16 平和と公正をすべての人に							
基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち							
基本政策	Ⅱ-2心躍るスポーツ・文化							
所管部長	総務部長			所管課長		総務課長		
関連所管								

## 【施策基本情報】

施策概要（「基本計画2025」）	施策のアウトカムイメージ
<p>【概要】 板橋区平和都市宣言に掲げた理念を区内外に伝え、平和意識の醸成を図る。</p> <p>【関係課または区以外の主体が施策実現に果たす役割】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会は子どもの学ぶ機会の創出</li> <li>・被爆地自治体は戦争が風化しないための資料提供や機会の提供</li> </ul> <p>【主な取組】 板橋区平和都市宣言記念事業</p>	<p>学校や教育委員会、地域住民など様々な主体と連携を取りながら、次代を担う子どもたちをはじめ、区民が平和の大切さをより理解するとともに、互いに伝え合うことで、一層の平和意識が醸成されている状態。</p>

## 【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	目標値
			実績	実績	実績	計画	目標年度
施策指標	① 平和啓発事業来場者の平和意識向上率	%	91.9	84.2	87.4	—	—
		達成率(%)	—	—	—	—	令和 7年度
	② 戦争体験を語り継ぐことが大切だと思う区民の割合	%	—	91.6	—	?	100.0
		達成率(%)	—	91.6	—	—	令和 7年度
	③	達成率(%)					
④	達成率(%)						
⑤	達成率(%)						

### 特記事項

令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行ないながら、3年ぶりに「中学生広島・長崎平和の旅」を実施することができた。「平和のつどい」において、「中学生平和の旅体験発表」の場を設けることができ、平和に関する映画上映を行なったことが、令和4年度の参加満足度の実績数値が上昇した一因と考えられる。

## 【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
フルコスト	千円	6,533	5,744	12,502	11,512	13,840
事業費	千円	1,548	804	7,561	6,571	8,899
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	都支出金	千円	0	0	0	0
	特別区債	千円	0	0	0	0
	受益者負担	千円	0	0	0	0
	その他	千円	226	226	216	216
一般財源	千円	1,322	578	7,345	6,355	8,735
人件費合計	千円	4,985	4,940	4,941	4,941	4,941
経費	千円	0	0	0	0	0

### フルコストの増減理由

「中学生広島・長崎平和の旅」や「平和のつどい」において新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から中止又は対策を講じながら工夫して実施したことにより、結果として規模縮小、経費削減となった。

施策名	220500	平和都市の推進
-----	--------	---------

**【前回の評価結果への対応状況】**

<b>前回の評価内容</b>		
評価用語／改善の方向性		
<b>前回の評価結果への対応状況</b>		
対応状況		

**【一次評価】所管部長による評価**

<b>[成果の分析] 1. 施策目標に対する成果（実績値）の推移</b>		
評価		
<b>[成果の分析] 2. 目標と成果にギャップがある場合の要因</b>		
<b>[アウトカムの分析] 最終アウトカム（施策目標）を実現するための中間アウトカムは妥当か</b>		
評価		
<b>[環境変化の分析] 環境変化への対応状況について（社会状況や区民ニーズに対応できたか）</b>		
評価		
<b>[今後の展開方針] 施策の抱える課題を踏まえ、最終アウトカムの実現に向けて、施策をどう展開していくか</b>		

**【外部評価】行政評価委員会による評価**

評価用語／改善の方向性	

**【二次評価】区の最終評価**

評価用語／改善の方向性	



# 令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 )

<b>事務事業名</b>	220500 - 001 平和都市宣言記念事業経費			
<b>担当所属</b>	総務課		<b>連絡先</b>	3579-2052
<b>関連所属</b>				

## 【事務事業基本情報】

<b>基本目標</b>	Ⅱいきいきかがやく元気なまち			
<b>基本政策</b>	Ⅱ-2心躍るスポーツ・文化			
<b>施策</b>	220500	平和都市の推進		
<b>根拠法令要綱</b>	板橋区平和都市宣言、板橋区平和都市宣言記念事業実行委員会設置要綱			
<b>計画事業番号</b>		<b>事業期間</b>	昭和60年度 ~	<b>施設種別</b>

## 【事業概要・環境変化】

<b>事業概要</b>	<b>環境変化・備考</b>
<p>【対象】 区内小中学生及び学校関係者、区内在住及び在勤者</p> <p>【手段】 1 平和絵画・原爆展（区役所本庁舎・赤塚支所） 2 中学生平和の旅（広島・長崎） 3 平和のつどい 4 平和展 5 平和の灯の保守（モニュメント）</p> <p>【意図】 昭和60年1月1日に行った板橋区平和都市宣言を記念し、各種平和事業の実施することで区民の平和意識の醸成や高揚を図る。</p> <p>【成果】 参加者満足度、平和絵画・原爆展応募作品数、中学生平和の旅活動日、平和のつどい参加者数</p>	<p>【現状の周辺環境】 世界平和は人類共通の願いであるが、世界では今でも多くの核兵器が存在し、また、民族・地域紛争やテロ行為などによる多くの死傷者があつとを絶たず、世界平和実現を困難なものとしている。</p> <p>【他自治体との比較】 全23区で平和事業を実施しているが、そのうち8区で、被爆地自治体等への派遣事業を実施している。</p>

## 【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)		計画
① 活動指標	平和絵画・原爆展開催期間	日	13.0	13.0	15.0	15.0	100.0	14.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
② 活動指標	中学生広島・長崎平和の旅活動日数（事前・事後学習含）	日	0.0	2.0	16.0	16.0	100.0	16.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
③ 成果指標	参加者満足度	%	77.3	84.2	90.0	87.4	97.1	90.0	90.0
		達成率(%)	85.9	93.6	100.0	97.1	—	100.0	令和 7年度
④ 成果指標	平和絵画・原爆展応募作品数	点	258.0	290.0	100.0	208.0	208.0	100.0	100.0
		達成率(%)	258.0	290.0	100.0	208.0	—	100.0	令和 7年度
⑤ 成果指標	平和のつどい参加者数	人	359.0	73.0	—	470.0	—	—	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—

### 特記事項

令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行ないながら、3年ぶりに「中学生広島・長崎平和の旅」を実施することができた。「平和のつどい」において、「中学生平和の旅体験発表」の場を設けることができ、平和に関する映画上映を行なったことが、令和4年度の参加者満足度の実績数値が上昇した一因と考えられる。

## 【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	
<b>フルコスト</b>	千円	6,533	5,744	12,502	11,512	13,840	
<b>事業費</b>	千円	1,548	804	7,561	6,571	8,899	
<b>国庫支出金</b>	千円	0	0	0	0	0	
<b>特定財源</b>	千円	0	0	0	0	0	
都支出金	千円	0	0	0	0	0	
特別区債	千円	0	0	0	0	0	
受益者負担	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	226	226	216	216	164	
<b>一般財源</b>	千円	1,322	578	7,345	6,355	8,735	
<b>人件費</b>	千円	4,985	4,940	4,941	4,941	4,941	
<b>正職員</b>	千円	4,985	4,940	4,941	4,941	4,941	
人員	人	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	
<b>再任用等</b>	千円	0	0	0	0	0	
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
<b>その他職員</b>	千円	0	0	0	0	0	
<b>経費</b>	千円	0	0	0	0	0	
<b>減価償却費</b>	千円	0	0	0	0	0	
<b>その他</b>	千円	0	0	0	0	0	
<b>コスト指標</b>	絵画応募作品数・つどい参加者	千円	10.59	15.82	—	16.98	—

### フルコストの増減理由

令和3年度が前年度と比べて減少した理由は、新型コロナウイルス感染症の影響により、中学生広島・長崎平和の旅を中止したことに加えて、「平和のつどい」における例年実施している会場から小規模な会場へ変更したことによる経費減である。また、令和4年度が前年度と比べて増加した理由は、中学生広島・長崎平和の旅を実施することができたことによる経費増のためである。

**【前回の二次評価結果への対応状況】**

前回の二次評価内容	
評価評語／改善の方向性	概ね順調／事業手法の見直し
令和3年度は、「中学生広島・長崎平和の旅」や「平和のつどい」において、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から中止又は対策を講じながら工夫して実施した。今後の実施にあたっては、ポストコロナを見据えながら、感染症対策と事業手法や規模等を総合的に検討するとともに、既存の事業のブラッシュアップに軸足を置き、啓発発信（ホームページ、SNSのコンテンツの充実など）を強化していく。	
前回の二次評価結果への対応状況	
対応状況	対応済
令和4年度は、前回の二次評価を踏まえて、「中学生広島・長崎平和の旅」や「平和のつどい」において、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から中止又は対策を講じながら工夫して実施した。また、平和事業のホームページにおいては「中学生平和の旅の感想文集」のバックナンバーを閲覧できるようにした。平和のつどいの映像もYoutubeに掲載し、平和の大切さへの理解を図った。	

**【一次評価】所管課長による評価**

[活動結果や成果の分析]		達成度	A
1. 活動指標の計画値を満したか	全てが90%以上		
2. 成果指標の計画値を満したか	全てが90%以上		
3. 計画どおり進捗しなかった理由を入力してください			
[中間アウトカムとの整合性]		寄与度	B
(事務事業は) 中間アウトカムに寄与しているか		寄与している	
平和都市宣言記念事業における「中学生広島・長崎平和の旅」や「平和絵画・原爆展」を進めていくことで、区民の平和に対する意識は向上する。こうした取組みを継続的に進めていくことで、中間アウトカム「平和に対する意識が高まる」に寄与している。			
[フルコストの把握・分析]		コスト評価	B
1. コストは最適であるか	最適化に取り組んでいる		
2. コスト最適化への取組状況	<p>「中学生広島・長崎平和の旅」や「平和のつどい」において、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から工夫して実施したことにより、結果として経費増となった。今後の実施にあたっては、感染症対策と事業手法や規模等を総合的に考慮し、経費の最適化を図っていく。</p>		
[改善の方向性]			
1. 方向性を選択してください	事業手法の見直し		
2. 具体的な手段を選択してください	コスト維持／活動・成果指標の向上		
3. 中間アウトカムの成果向上に向けた改善策について			
効果的な平和に対する関心が高まる平和都市宣言事業実施方法等を検討していく（具体的には、平和の旅に参加する中学生の人数をコロナ禍以前の数に戻し、看護師の随行、抗原検査を行なう。宿泊場所や移動中においても感染防止対策を徹底する等）。なお、事業実施にあたっては区議会及び区で構成される実行委員会において経費や実施効果等を十分に検討していく。また、関心を高めるためにはイベントだけでなく、情報発信も有用なので、SNS等を活用し、その点も強化していく。			

**【二次評価】所管部長による評価**

評価評語／改善の方向性	概ね順調／事業手法の見直し
令和4年度は、「中学生広島・長崎平和の旅」や「平和のつどい」において、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら工夫して実施することができた。今後の実施にあたっては、ポストコロナを見据えながら、引き続き事業の感染症対策と広報活動に重点を置き、区民が関心を持ち、積極的に区の平和事業に参加できるようなデジタルコンテンツ（静止画・動画・絵本テイスト・アンケート機能など）による事業手法を企画・実行していく。	